

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-18	高等学校	数学	数学 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、以下の4つを基本方針に据え、着実なる学力向上を目指した。

- 1 見やすく、視覚的に理解しやすい紙面を追求。**
- 2 知識、技能をスムーズに定着。**
- 3 思考力、判断力、表現力を育成する問題もある程度充実。**
- 4 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。**

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
中学校の内容の確認	・振り返りの場面を充実し、生徒自らがその理解に応じて学習できるように配慮した（第2号）。	6~11 ページ
章扉	・生活の中に数学が活用できる事例を紹介し、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにした（第1号、第2号）。	12~13 ページ、 58~59 ページ、 76~77 ページ、 122~123 ページ、 158~159 ページ
第1章 数と式	・ $(a+b)^2$ の展開の公式が正方形の面積に着目しても導かれるなどを図示し、物事を様々な角度から考察する態度を養う機会を設けた（第1号）。 ・品物が最大で何個買えるかという事例を考えることで、数学と日常生活との関連を重視する態度を養う機会を設けた（第2号）。	20 ページ 54 ページ
第2章 集合と命題	・物事を論理的に考える素地が培えるよう、基本的な具体例を通して、丁寧に説明した（第1号）。 ・選挙を題材とした命題を取り上げ、主権者としての意識を高められるようにした（第3号）。	58~75 ページ 64 ページ
第3章 2次関数	・電気の使用量とその料金の関係という生活の中に見いだされる関数を取り上げた（第2号）。	78 ページ

	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の知識を具体的な場面で活用する能力が身につくように配慮した（第1号）。 ・判別式を表す文字Dが、英単語の頭文字からとられていることに触れ、他国での数学に関心をもつような機会を設けた（第5号）。 ・ボールを真上に投げ上げたときの時間と高さの関係が2次関数として表現されることに触れ、科学的な事象に数学が生きることを取り上げた（第1号）。 	97ページ, 103ページ, 121ページ 106ページ 118ページ
第4章 図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の知識をまとめる場面では、筆記体の書き順の関係を紹介し、他の文化に関心をもつような機会を設けた。（第5号） ・三角比の知識を測量など具体的な場面で活用する能力が身につくように配慮した（第1号）。 	125ページ 128～129ページ, 142～143ページ, 153～155ページ
第5章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるデータの傾向を数学的に考察し説明できるように配慮した（第1号）。 ・題材を選定する際に、データが男女に偏ることがないように留意した（第3号）。 ・社会現象の中の実際のデータについての相関関係を取り上げ、社会の形成に参画する態度に繋がるようにした（第3号）。 ・仮説検定の考え方の導入では、商品開発に関する題材を取り上げ、社会の形成に参画する態度に繋がるようにした（第3号）。 	158～187ページ 158～187ページ 175ページ 181～183ページ
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・節末に、その節で学んだ内容を振り返る場面を設け、これまでとは違った角度からの問題を取り上げることで、確かな知識が身につくように配慮した（第1号、第2号）。 	30ページ, 55ページ, 73ページ, 100～101ページ, 119ページ, 142ページ, 154ページ, 184～185ページ
課題学習	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Iで学んだ内容を、生活と関連付けたり発展させたりするなどして、生徒の関心や意欲を高める課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにした（第1号、第2号、第4号、第5号）。 	188～195ページ
数学のことば	<ul style="list-style-type: none"> ・日常ではありません用いられない数学特有の表現について取り上げ、真理を求める態度を養えるようにした（第2号）。 	196～197ページ
練習の答、節末問題・章末問題の答	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲のある生徒には自学自習もできるよう、練習・節末問題・章末問題の最終的な答を掲載した（第2号）。 	198～210ページ
さくいん	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら振り返って学習もできるように、さくいんを入れた（第2号）。 	211～212ページ
三角比の表	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を具体的な事象に活用する場面で、三角比の表を用いて近似値が調べられるようにした（第2号）。 	後見返し右

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

基本方針にのっとり、以下の点に特に意を用いた。

1 見やすく、視覚的に理解しやすい紙面を追求。

各項目は、なるべく左ページから始まるようにし、内容の展開が一目でわかるように配慮した。

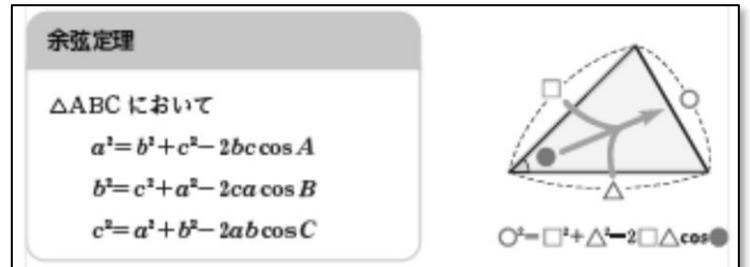
図を多用して、視覚的に理解を深められるように配慮した。

● 2次不等式の解 (114 ページ)

2次関数のグラフと2次不等式の解の関係を、図を通して理解が深まるように工夫した。

● 余弦定理 (148 ページ)

2辺とその間の角がわかると、余弦定理を用いて、残りの1辺が求められる様子を、定理の近くに図示した。



2 知識、技能をスムーズに定着。

中学数学との関連を配慮した。

● 中学校の計算問題の復習 (6~11 ページ)

本書の冒頭に6ページほど中学校の計算問題の復習を扱い、第1章「数と式」へスムーズに入れるように工夫した。

● 後見返し

後見返しに数学Iと関連する中学数学の基本事項をまとめ、必要に応じて振り返りができるように配慮した。

1 数の計算 中学校の内容の確認

中学校で学習した基本的な計算方法を確認します。

正の数、負の数の加法・減法

例 (1) $10 + (-7) = 10 - 7 = 3$

$\square + (-\square) = \square - \square$

1 (2) $7 - (-6) = 7 + 6 = 13$

$\square - (-\square) = \square + \square$

(3) $(-9) + (-8) = -9 - 8 = -17$

次の計算をせよ。

1 (1) $9 + (-4)$ (2) $5 + (-8)$ (3) $10 - (-3)$ (4) $(-12) + (-7)$

学習内容の繋がりが把握しやすい。

● 既習事項を示す線

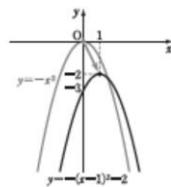
中学校やそれまでの項目で学習済みの内容には、そのことを示す線を引いた。

● 構成要素「次への一歩」

構成要素「次への一歩」で、その項目で学習した内容を確認する問題の問い合わせ方を工夫し、次の項目を意識した問題を取り上げた。

89ページの「次への一歩」では、90ページで学習する平方完成を意識させる問題を取り上げた。

10 (例題) 2次関数 $y = -(x-1)^2 - 2$ のグラフの頂点と軸を求め、そのグラフをかけ。
解説 $y = -(x-1)^2 - 2$ のグラフは、
 $y = -x^2$ のグラフを
x 軸方向に 1、y 軸方向に -2
だけ平行移動した放物線である。
頂点は点 $(1, -2)$ 、軸は直線 $x=1$
である。このグラフは点 $(0, -3)$ を通る
よって、この関数のグラフは右
の図のようになる。



11 次の2次関数のグラフの頂点と軸を求め、そのグラフをかけ。

9 (1) $y = -(x-2)^2 - 1$ (2) $y = 2(x+1)^2 + 1$

次への一歩

2次関数 $y = 3(x+1)^2 - 2$ のグラフの頂点と軸を求め、そのグラフをかけ。
さらに、この2次関数を $y = ax^2 + bx + c$ の形に変形せよ。

7 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ

ここからは、2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフについて学習します。
 $y = ax^2 + bx + c$ を $y = a(x-p)^2 + q$ の形に変形できれば、今まで学習してきたことを使って、 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフをかくことができます。

1つの例・例題には、1つの学習内容のみを扱っているので、無理なく段階的に学習できる。

●因数分解 (24~29 ページ)

因数分解の項目では、合計 9 題の例・例題を難易順に配し、段階的に学習できるように配慮した。

●平方完成 (90~91 ページ)

平方完成を用いた式変形を、① x^2+bx ② ax^2+bx ③ ax^2+bx+c の3段階の例に分けて解説し、丁寧に扱った。

$$\textcircled{1} \quad x^2+bx$$

例 8

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad y &= x^2 - 6x \\ &= x^2 - 2 \cdot 3x \\ &= (x-3)^2 - 3^2 \\ &= (x-3)^2 - 9 \end{aligned}$$

$$\textcircled{2} \quad ax^2+bx$$

例 9

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad y &= 3x^2 - 6x \\ &= 3(x^2 - 2x) \\ &= 3((x-1)^2 - 1^2) \\ &= 3(x-1)^2 - 3 \cdot 1^2 \\ &= 3(x-1)^2 - 3 \end{aligned}$$

$$\textcircled{3} \quad ax^2+bx+c$$

$$\begin{aligned} \textcircled{3} \quad y &= 3x^2 - 12x + 7 \\ &= 3(x^2 - 4x) + 7 \\ &= 3((x-2)^2 - 2^2) + 7 \\ &= 3(x-2)^2 - 3 \cdot 2^2 + 7 \\ &= 3(x-2)^2 - 5 \end{aligned}$$

学習内容を振り返ることで知識、技能を確実に定着。

● 内容の区切りや節末に「振り返り」を設け、それまでに学習した知識、技能を振り返ることができるようにした。

また、それに関連した問を与える、知識、技能の定着と深い理解に繋げることができる。

基礎～標準レベルの充実した問題量。

● 数と式の計算や、2次不等式の計算など、今後の基礎となる計算については、反復量を豊富に扱い、定着を図った。

● 内容の区切りや節末に「節末問題」を設け、例・例題の復習問題を扱った。

また、問題文の近くに関連した例・例題の参照番号を記しているので、フィードバック学習をすることができる。

3 思考力、判断力、表現力を育成する問題もある程度充実。

考え方を深める問い合わせ適切な場面で設定している。

●構成要素「深める」

構成要素「深める」として、答えが1つに定まらない問題に取り組む、別の方法で考えてみるなど、本質的な理解に繋がる問い合わせ適切な場面に設定した。

脚注として掲載することで、本文と識別しやすいレイアウトになっており、生徒の理解度等によって、適切なタイミングで取り上げることができる。



Uを全体集合とし、Aをその部分集合とすると、集合 $A \cap \bar{A}$ と $A \cup \bar{A}$ はそれぞれどのような集合となるか考えてみよう。

振り返り 正弦定理・余弦定理

ここでは、正弦定理、余弦定理について、これまでに学んできたことを振り返ってみましょう。次の空欄には、これまで学んできた式が入ります。教科書を振り返り、空欄を埋めてみましょう。

○ 正弦定理・余弦定理

△ABC の外接円の半径を R とすると

$$\boxed{} = \frac{b}{\sin B} = \frac{c}{\sin C} = \boxed{}$$

△ABCにおいて $a^2 = \boxed{}$

この式を変形すると $\cos A = \boxed{}$

① 三角形において次のことがわかっているとき、残りの辺の長さや角の大きさを求めるためには、正弦定理、余弦定理のどちらの定理を初めに利用するとよいか。空欄に正弦、余弦のどちらかを埋めよ。

(1) 3 辺の長さ (2) 定理

全体集合と補集合

1つの集合 U を定めて、U の要素や U の部分集合だけを考えることがある。このとき、U を 全体集合 という。

U の部分集合 A に対して、U の要素のうち A の要素でないものの全体の集合を、A の 補集合 といい、 \bar{A} と表す。

例題 1 $U=\{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7\}$ を全体集合とする。2つの集合 $A=\{2, 3, 5, 7\}$, $B=\{1, 3, 5, 7\}$ について、次の集合を求めよ。

(1) \bar{A} (2) $\bar{A} \cup B$ (3) $\bar{A} \cap B$

解答

(1) $\bar{A}=\{1, 4, 6\}$
(2) $A \cup B=\{1, 2, 3, 5, 7\}$ であるから $\bar{A} \cup B=\{4, 6\}$
(3) (1) と $B=\{2, 4, 6\}$ から $\bar{A} \cap B=\{4, 6\}$

例題 1 の集合 U と A, B について、次の集合を求めよ。

(1) $A \cap \bar{B}$ (2) $\bar{A} \cap B$ (3) $A \cap \bar{B}$ (4) $\bar{A} \cup \bar{B}$

一般に、ド・モルガンの法則 と呼ばれる次の関係が成立する。

$$A \cup B = \bar{A} \cap \bar{B}$$

$$A \cap B = \bar{A} \cup \bar{B}$$

U を全体集合とし、A をその部分集合とするとき、集合 $A \cap \bar{A}$ と $A \cup \bar{A}$ はそれぞれどのような集合となるか考えてみよう。

本文外の「研究」や「発展」を学ぶことで、更にレベルアップが可能。

● 3次式の展開と因数分解（発展）

数学Ⅱ以降につながる内容としてしっかりと扱った。

● $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明（研究）

背理法を利用した、やや程度の高い証明を扱うことで、論証力の育成を目指した。

● 2次関数のグラフの平行移動（研究）

2つの2次関数のグラフの平行移動を、頂点の移動に着目して考察し、物事を簡素化して考えることの有効性を実感できるようにした。

発展 3次式の展開と因数分解

20ページの展開の公式1と、分配法則を用いて、 $(a+b)^3$ を展開してみよう。

$$\begin{aligned}
 (a+b)^3 &= (a+b)^2(a+b) \\
 &= (a^2+2ab+b^2)(a+b) \\
 &= (a^2+2ab+b^2)a+(a^2+2ab+b^2)b \\
 &= (a^2\cdot a+2ab\cdot a+b^2\cdot a) \\
 &\quad + (a^2\cdot b+2ab\cdot b+b^2\cdot b) \\
 &= (a^3+2a^2b+ab^2)+(a^2b+2ab^2+b^3) \\
 &= a^3+3a^2b+3ab^2+b^3
 \end{aligned}$$

よって $(a+b)^3 = a^3+3a^2b+3ab^2+b^3$ ……①

また、①において、 b を $-b$ でおきかえると

$$(a+(-b))^3 = a^3+3a^2(-b)+3a(-b)^2+(-b)^3$$

よって $(a-b)^3 = a^3-3a^2b+3ab^2-b^3$

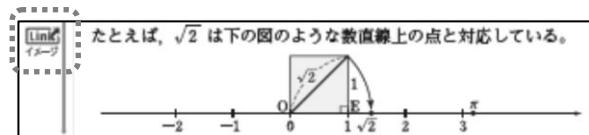
4 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

生徒が主体的に学習に取り組むための工夫がある。

● 構成要素「深める」 → 3

● ICT の活用 Link マーク

教科書の内容に関連した参考資料、理解を助けるアニメーション、生徒自らが考察するためのツールなどのデジタルコンテンツを用意しており、インターネットに接続することで活用できる。紙面では表現が難しい動きをともなうコンテンツもあり、生徒がこれらに触ることで理解を深めることができる。



数学の面白さ、数学のよさ、数学の奥深さが実感できる。

● 章扉

その章の内容に関連した生活の事象や社会の事象などを紹介し、その章を学ぶ動機づけになるようにしている。

● コラム

本文の内容に関連する興味深い話題をコラムとして取り上げている。

第1章 数と式

第1節 数と式
第2節 実数
第3節 1次不等式

Yさんは友達とお菓子交換をするために、1個100円のお菓子Aと1個60円のお菓子Bを購入することにしました。

交換するお菓子の個数を考えると、お菓子Aとお菓子Bを合わせて20個購入する必要がありそうだね。

5 ユニバーサルデザインに関する取り組み

● 色づかい

色覚の個人差を問わず多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮した。

● 文字

本文等に、多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字（ユニバーサルデザインフォント）を使用した。

通常のフォント

るような実数

ユニバーサルデザインフォント

るような実数

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-18	高等学校	数学	数学Ⅰ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 全体的な留意点

- 基礎的・基本的な知識及び技能が確実に理解できるように、平易な具体例による平明な説明を第一とした。
- 学習内容の体系に留意しながら、それらを細分化して展開することで、学習事項が確実に身につくように配慮した。
- 思考力、判断力、表現力を育成できるように、本教科書を使用する生徒の特性を踏まえた問題を適切に扱うことを心掛けた。
- 日常の事象や社会の事象を扱い、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度等を養えるように配慮した。
- 内容の理解の定着のため、図版やレイアウトなど視覚面での工夫を心掛けた。

2 教科書の特色

- 中学校数学との接続に留意し、本書の冒頭に、既習の内容をまとめて確認する場面を設けた。これらは、第1章で学習する数と式の内容の基礎をなすものである。さらに、中学校数学やそれまでの項目で既習の内容を本文で扱う際は、既習の内容であることが分かるよう印を設けた。
- 必履修科目である数学Ⅰの特性に鑑み、豊富な具体例を段階的に配置することで、出来る限り広い層の生徒が理解できるように留意した。
- 重要事項は、適切な箇所に配置し、枠で囲んだり強調したりすることで、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に定着するように配慮した。
- 生徒自らが問題に取り組みそれを解決することは、学習内容の確実な定着を図るだけでなく、新たな学習事項に対して更なる関心や意欲を喚起するものである。そのため、本書では、この点に留意し、基本的な問題から標準的な問題を幅広く取り上げた。
- 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度等を養えるよう、章扉に日常の事象や社会の事象を取り上げた。
- 多色刷のグラフや図を効果的に使い、視覚的にも理解を容易にするように配慮した。さらに、色覚の個人差を問わず多くの人が見やすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮した。また、本文の和文書体として、多くの人が見やすく読みまちがえにくいデザインの文字（ユニバーサルデザインフォント）を用いた。

3 教科書の構成要素

[章扉] その章の内容に関連した日常の事象や社会の事象などの課題を紹介した。

[例] 本文の理解を助けるための具体的な例である。

[例題] その項目の内容の基礎となる問題や代表的な問題である。必要に応じて「考え方」を記し、解答の方針などを示した。「解答」は、答案としての一例である。

[練習] 例、例題の内容を反復学習するための問題である。巻末にその答えをまとめてあり、生徒が自学自習しやすいように配慮した。

[次への一歩] その項目で学習した内容のうち、次の項目で必要な内容を確認するための問題である。

[深める] 見方を変えて考えてみるなど、内容の理解を深めるための問題である。ページ下の脚注で扱っているので、必要に応じて取り組めるようにした。

[振り返り] 内容の区切りや節の終わりにある。それまでの基本事項をまとめた。また、それらの理解を深めるための問題を「問」で取り上げている。

[節末問題] 内容の区切りや節の終わりにある。節末問題Aはその章の復習で、学習事項を確認するためのものである。練習問題Bはやや程度の高い問題を含んでいる。問題文に関連するページや例・例題番号を示し、フィードバック学習ができるようにした。

[章末問題] 各章の終わりにある。その章の内容全体の復習で、応用的な問題を中心に取り上げた。

[研究] 本文の内容に関連するやや程度の高い内容を扱った。場合によっては省略してもよい。

[発展] 高等学校学習指導要領の数学Ⅰの範囲外の内容である。興味や関心に応じて選択して学習する発展的内容である。

[コラム] その章に関連した興味深い話題を取り上げた。

[課題学習] 章扉、本文の内容に関連して、学習者が主体的に取り組む課題を設けた。

[数学のことば] 日常生活ではあまり用いられない数学特有の表現について、本文から参考を入れ、巻末でいくつか取り上げた。

インターネットへのリンクマーク

この教科書に関連した参考資料、理解を助けるアニメーション、活動を効果的に行うためのツールなどが利用できる目印である。

インターネットに接続することで活用できる。



4 各章において配慮した点

中学校の内容の確認

巻頭に中学校で学んだ数の計算、文字式の計算、方程式の解法の復習を扱い、第1章の「数と式」にスムーズに入れるようにした。

第1章 数と式 数と式／実数／1次不等式

展開の公式、因数分解、根号を含む式の計算では、中学校での既習事項を適宜復習しながら、豊富な練習量によって計算力が身につくようにした。

1次不等式の解法では、例・例題を①移項する②両辺を係数で割る③移項して両辺を係数で割る④係数が分数⑤係数が小数の5つに分けて丁寧に扱い、着実に解法を習得できるように配慮した。

第2章 集合と命題

集合や命題に関する基本事項や、間接証明法の基礎が習得できるようにした。

なお、この章の内容は、指導する時期が様々であることから、指導の便を考慮して独立した章とした。

第3章 2次関数 2次関数とグラフ／2次方程式と2次不等式

2次関数のグラフでは、 x と y の対応表や格子つきのグラフを活用して、平行移動の様子を具体的かつ丁寧に解説するようにした。また、重要な式変形である平方完成が定着するために、式変形の具体例や練習量を豊富に扱った。

2次不等式では、第1章で学んだ1次不等式をグラフで考えることから入り、理解が容易になるよう工夫した。

第4章 図形と計量 三角比／正弦定理・余弦定理

多色刷の図を豊富に用いて、三角比の理解を視覚的に助けるように配慮した。三角比の相互関係では、図を利用して余弦から正弦・正接を求める方法も紹介した。

正弦定理・余弦定理を証明とともに与え、平面図形の計量や空間での測量を通して、定理の使い方が確実に定着するような題材選定を心掛けた。

章全体を通して、分数÷分数のような生徒が苦手とする計算が多く登場するため、途中計算を丁寧に説明するよう心掛けた。

第5章 データの分析

初めは、中学校で学んだヒストグラムや代表値についての復習を扱った。

データの散らばりの項では、まず、中学校で学んだ四分位範囲や箱ひげ図から取り上げ、次に分散・標準偏差を扱うことで学習しやすくした。データの相関の項では、実生活のデータも用いて、正・負の相関関係を理解できるようにした。

分散や相関係数の計算では、表を使って整理する方法を紹介した。

課題学習

様々な運用を考慮し、巻末にまとめて取り上げた。

買い物をする際にどのお店で購入すると安く買えるかの判断に数学を用いたり、気温の傾向に対して立てた予想の正しさを数学を用いて判断したりするなど、身近な題材を中心に取り上げ、生徒が興味を持って取り組めるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1章 数と式 第1節 数と式 第2節 実数 第3節 1次不等式	(1) 数と式 ア(ウ), イ(イ) ア(ア), イ(イ), 内容の取扱い(2) ア(エ), イ(ウ)(エ)	12～57ページ	23
第2章 集合と命題	(1) 数と式 ア(イ), イ(ア)	58～75ページ	8
第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次方程式と2次不等式	(3) 二次関数 ア(ア)(イ), イ(ア)(イ) ア(ウ), イ(ア)(イ)	76～121ページ	26
第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 正弦定理・余弦定理	(2) 図形と計量 ア(ア)(イ), イ(ア)(イ), 内容の取扱い(3) ア(ウ), イ(ア)(イ)	122～157ページ	20
第5章 データの分析	(4) データの分析 ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)	158～187ページ	9
課題学習	〔課題学習〕, 内容の取扱い(4)	188～195ページ	4
		計	90

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-18	高等学校	数学	数学 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
32, 33	3次式の展開と因数分解	1	(1) 数と式 ア(ウ), イ(イ)	2
43	2重根号	1	(1) 数と式 ア(ア)	1
156	ヘロンの公式	1	(2) 図形と計量 ア(ウ), イ(ア)	0. 5
合 計				3. 5

(「類型」欄の分類について)

- 1 ……学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 ……学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容

常用漢字以外の使用漢字一覧表

常用漢字以外の 使用漢字	い 伊	たる 樽	ぼろ 幌
初出ページ	192 ページ	142 ページ	169 ページ

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
前見返し 1上	花火	写真						株式会社アプロ 22718134 (←写真番号)
前見返し 1下	サン・フランシスコ礼拝堂	写真						株式会社アプロ 20978643
前見返し 2上	山	写真						株式会社アプロ 130481550
前見返し 2下	坂	写真						株式会社アプロ 31759520
12, 54上	お菓子	写真						株式会社アプロ 162088550
54下	果物	写真						株式会社アプロ 21522434
58,189	サッカー	写真						株式会社アプロ 71622187
58,189	サッカー順位表	表						J.League Data Site https://data.j-league.or.jp/SFRT01/ 2018明治安田生命J2リーグ順位表【第41節終了時点】 1, 2, 4位のチームの勝点、 勝, 分, 負, 得点, 失点, 得失点差を取り出した。
78	金魚鉢	写真						株式会社アプロ 7244604
122	山	写真						photoAC 27793381_m
142	標識	写真						株式会社アプロ 34807670

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
169	那覇の降水量	数値						気象庁 https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/monthly_s1.php?prec_no=91&block_no=47936&year=2022&month=&day=&view=a1 那覇の2022年に1mm以上の降水量があった月ごとの日数を取り出した。
169,170	岡山の降水量	数値						気象庁 https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/monthly_s1.php?prec_no=66&block_no=47768&year=2022&month=&day=&view=a1 岡山の2022年に1mm以上の降水量があった月ごとの日数を取り出した。
169	札幌の降水量	数値						気象庁 https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/monthly_s1.php?prec_no=14&block_no=47412&year=2022&month=&day=&view=a1 札幌の2022年に1mm以上の降水量があった月ごとの日数を取り出した。
175	固定電話の加入件数	図	令和3年版情報通信白書 第2部		総務省			https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd242210.html 図表4-2-2-1の固定通信の値を2016年から2020年まで取り出し、次セルのデータと合わせ、散布図を作成。

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
175	ドラッグストア店舗数	図	商業動態統計調査		経済産業省			https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/syoudou/result-2/index.html 販売額(Value)年(CY)シートの店舗数を2016年から2020年まで取り出し、前セルのデータと合わせ、散布図を作成。
181	アンケート	写真						株式会社アプロ 206130541
185	プロ野球の記録(リーグC)	表						NPB https://npb.jp/bis/2019/stats/bat_c.html 2019年度セントラル・リーグ個人打撃成績(規定打席以上)の打点について、平均値などの値を算出し、表にまとめた。
185	プロ野球の記録(リーグP)	表						NPB https://npb.jp/bis/2019/stats/bat_p.html 2019年度パシフィック・リーグ個人打撃成績(規定打席以上)の打点について、平均値などの値を算出し、表にまとめた。
188	ボールペン	写真						株式会社アプロ 24412226
192上	伊能忠敬	写真						千葉県香取市 伊能忠敬記念館
192左中	量程車	写真						千葉県香取市 伊能忠敬記念館
192中中	半円方位盤	写真						千葉県香取市 伊能忠敬記念館
192右中	日本国図	写真						東京国立博物館(株式会社DNPアートコミュニケーションズ)
192左下	象限儀(小)	写真						千葉県香取市 伊能忠敬記念館

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
192右下	象限儀(中)	写真						千葉県香取市伊能忠敬記念館
194上	バス	写真						株式会社アプロ 10045277
194下	鳥居	写真						株式会社アプロ 11236320
194上	東京の2月の平均気温	グラフ						気象庁 https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=44&block_no=47662 日平均気温の月平均値の 1994年から2023年の2月を取り 出し、折れ線グラフで表した。
194下	東京の8月の平均気温	グラフ						気象庁 日平均気温の月平均値の 1994年から2023年の8月を取り 出し、折れ線グラフで表した。
195	東京の2月と8月の平均気温	表						気象庁 日平均気温の月平均値の 1994年から2023年の2月と8月 を取り出した。

*上記以外の写真などは自社作成

(備考)1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ①「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ②「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称(版次を含む。),掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
 - ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
 - ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することができる情報を記入する。
- 3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。
- 4 (1)写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。
 (2)著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること(別途契約を締結する場合を除く)。

備考4の内容について確認しました。

用語・記号リスト

用語・記号	正弦	\sin	余弦	\cos	正接	\tan
初出 ページ	125 ページ	125 ページ	125 ページ	125 ページ	125 ページ	125 ページ

用語・記号	外れ値
初出 ページ	170 ページ

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	前見返し 3	二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	前見返し3上
	前見返し 3	URL, 二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	前見返し3下 リンク先は前見返 し3上の二次元 コードと同じ
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	数学Iで学習する公式 などを確認する自社作 成コンテンツを掲載	別紙1添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	数学の用語を確認する 自社作成コンテンツを	別紙2添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第1章の内容に関連す る既習内容の確認でき る自社作成コンテンツ	別紙3添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第2章の内容に関連す る既習内容の確認でき る自社作成コンテンツ	別紙4添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第3章の内容に関連す る既習内容の確認でき る自社作成コンテンツ	別紙5添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第4章の内容に関連す る既習内容の確認でき る自社作成コンテンツ	別紙6添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第5章の内容に関連す る既習内容の確認でき る自社作成コンテンツ	別紙7添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	0で割ってはいけない 理由に関する自社作成 動画を掲載	別紙8添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	平方根のおよその値に 関する自社作成動画を	別紙9添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	三段論法に関する自社 作成動画を掲載	別紙10添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	素数は無限に存在する に関する自社作成動画 を掲載	別紙11添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	鳩の巣原理に関する自 社作成動画を掲載	別紙12添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	関数の最小値が存在しない場合に関する自社作成動画を掲載	別紙13添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	定理を拡張することに関する自社作成動画を	別紙14添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	散布図に表すことの大切さに関する自社作成動画を掲載	別紙15添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	相関関係と因果関係に関する自社作成動画を	別紙16添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	回帰分析に関する自社作成動画を掲載	別紙17添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	因数分解の公式(たすき掛け)を説明する自社作成動画を掲載	別紙18添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2重根号を説明する自社作成動画を掲載	別紙19添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	不等式の性質を説明する自社作成動画を掲載	別紙20添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	ド・モルガンの法則を説明する自社作成動画を	別紙21添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	90° - θ の三角比を説明する自社作成動画を	別紙22添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	正弦定理を説明する自社作成動画を掲載	別紙23添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	余弦定理を説明する自社作成動画を掲載	別紙24添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	度数分布表・ヒストグラムを説明する自社作成動画を掲載	別紙25添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	代表値を説明する自社作成動画を掲載	別紙26添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	四分位範囲を説明する自社作成動画を掲載	別紙27添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	箱ひげ図を説明する自社作成動画を掲載	別紙28添付
	前見返し 3	自社作成マーク	自社	自社ページURL	分散と標準偏差を説明する自社作成動画を掲	別紙29添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	5	URL, 二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返 し3上の二次元 コードと同じ
	7	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	四則の混じった式の計 算の自社作成計算練 習コンテンツを掲載	別紙30添付
	7	二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返 し3上の二次元 コードと同じ
	9	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	文字式の加法・減法の 自社作成計算練習コン テンツを掲載	別紙31添付
	9	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	文字式の加法・減法 (分数)の自社作成計 算練習コンテンツを掲 載	別紙32添付
	9	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	文字式の乗法・除法の 自社作成計算練習コン テンツを掲載	別紙33添付
	9	二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返 し3上の二次元 コードと同じ
	10	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	1次方程式の自社作成 計算練習コンテンツを	別紙34添付
	11	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	連立方程式の自社作 成計算練習コンテンツ を掲載	別紙35添付
	11	二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返 し3上の二次元 コードと同じ
	13	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第1章の内容を紹介す る自社作成動画を掲載	別紙36添付
	13	二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返 し3上の二次元 コードと同じ
	15	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	多項式の整理の自社 作成計算練習コンテン ツを掲載	別紙37添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	15	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	16	自社作成マーク	自社	自社ページURL	多項式の加法・減法の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙38添付
	17	自社作成マーク	自社	自社ページURL	指数法則の自社作成計算練習コンテンツを	別紙39添付
	17	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	18	自社作成マーク	自社	自社ページURL	多項式の展開の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙40添付
	19	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	20	自社作成マーク	自社	自社ページURL	展開の公式1, 2の自社作成アニメーションを掲載	別紙41添付
	20	自社作成マーク	自社	自社ページURL	展開の公式3の自社作成アニメーションを掲載	別紙42添付
	20	自社作成マーク	自社	自社ページURL	展開の公式1, 2, 3の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙43添付
	20	自社作成マーク	自社	自社ページURL	展開の公式4の自社作成アニメーションを掲載	別紙44添付
	21	自社作成マーク	自社	自社ページURL	展開の公式4の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙45添付
	21	自社作成マーク	自社	自社ページURL	展開の公式5の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙46添付
	21	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	24	自社作成マーク	自社	自社ページURL	共通因数のくり出しの自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙47添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	25	自社作成マーク	自社	自社ページURL	因数分解の公式1, 2, 3の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙48添付
	25	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	26	自社作成マーク	自社	自社ページURL	因数分解の公式4の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙49添付
	27	自社作成マーク	自社	自社ページURL	因数分解(たすき掛け)の自社作成アニメーションを掲載	別紙50添付
	27	自社作成マーク	自社	自社ページURL	因数分解(たすき掛け)の自社作成コンテンツを掲載	別紙51添付
	27	自社作成マーク	自社	自社ページURL	因数分解の公式5の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙52添付
	27	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	29	自社作成マーク	自社	自社ページURL	いろいろな因数分解の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙53添付
	29	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	32	自社作成マーク	自社	自社ページURL	展開の公式6, 7の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙54添付
	33	自社作成マーク	自社	自社ページURL	展開の公式8, 9の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙55添付
	33	自社作成マーク	自社	自社ページURL	因数分解の公式6, 7の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙56添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	33	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	36	自社作成マーク	自社	自社ページURL	数直線と実数に関する自社作成アニメーションを掲載	別紙57添付
	37	自社作成マーク	自社	自社ページURL	絶対値の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙58添付
	37	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	39	自社作成マーク	自社	自社ページURL	根号の変形の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙59添付
	39	自社作成マーク	自社	自社ページURL	平方根の積の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙60添付
	39	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	40	自社作成マーク	自社	自社ページURL	根号を含む式の計算の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙61添付
	41	自社作成マーク	自社	自社ページURL	平方根を含む式の計算の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙62添付
	41	自社作成マーク	自社	自社ページURL	分母の有理化の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙63添付
	41	自社作成マーク	自社	自社ページURL	分母が2項の有理化の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙64添付
	41	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	45	自社作成マーク	自社	自社ページURL	不等式の解に関する自社作成動画を掲載	別紙65添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	45	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	48	自社作成マーク	自社	自社ページURL	1つの項を移項する1次不等式の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙66添付
	49	自社作成マーク	自社	自社ページURL	不等式の性質を利用する1次不等式の自社作成計算練習コンテンツ	別紙67添付
	49	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2つの項を移項する1次不等式の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙68添付
	49	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	50	自社作成マーク	自社	自社ページURL	分数を含む1次不等式の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙69添付
	51	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	52	自社作成マーク	自社	自社ページURL	連立不等式の自社作成アニメーションを掲載	別紙70添付
	53	自社作成マーク	自社	自社ページURL	連立不等式の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙71添付
	53	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	59	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第2章の内容を紹介する自社作成動画を掲載	別紙72添付
	59	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	66	自社作成マーク	自社	自社ページURL	必要条件、十分条件に関する自社作成動画を	別紙73添付
	67	自社作成マーク	自社	自社ページURL	必要十分条件の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙74添付
	67	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	68	自社作成マーク	自社	自社ページURL	「かつ、または」に関する自社作成動画を掲載	別紙75添付
	69	自社作成マーク	自社	自社ページURL	命題の逆、対偶、裏に関する自社作成動画を	別紙76添付
	69	自社作成マーク	自社	自社ページURL	命題とその対偶の真偽に関する自社作成動画を掲載	別紙77添付
	69	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	71	自社作成マーク	自社	自社ページURL	「矛盾」に関する自社作成動画を掲載	別紙78添付
	71	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	77	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第3章の内容を紹介する自社作成動画を掲載	別紙79添付
	77	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	79	自社作成マーク	自社	自社ページURL	関数に関する自社作成動画を掲載	別紙80添付
	79	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	82	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙81添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	83	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙82添付
	83	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	84	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙83添付
	85	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙84添付
	85	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	86	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙85添付
	87	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙86添付
	87	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	88	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙87添付
	89	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙88添付
	89	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙89添付
	89	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	90	自社作成マーク	自社	自社ページURL	平方完成の自社作成アニメーションを掲載	別紙90添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	91	自社作成マーク	自社	自社ページURL	平方完成の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙91添付
	91	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	92	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙92添付
	93	自社作成マーク	自社	自社ページURL	グラフの平行移動の自社作成コンテンツを掲載	別紙93添付
	93	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	95	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙94添付
	95	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数の最大値・最小値の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙95添付
	95	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	96	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙96添付
	96	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数の最大値・最小値の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙97添付
	97	自社作成マーク	自社	自社ページURL	例題の状況をイメージさせる自社作成アニメーションを掲載	別紙98添付
	97	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	98	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙99添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	99	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙100添付
	99	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	101	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	別紙101添付
	101	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	104	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次方程式の自社作成計算練習コンテンツを	別紙102添付
	105	自社作成マーク	自社	自社ページURL	解の公式の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙103添付
	105	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	107	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次方程式の実数解の個数の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙104添付
	107	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	108	自社作成マーク	自社	自社ページURL	共有点に関する自社作成動画を掲載	別紙105添付
	109	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	110	自社作成マーク	自社	自社ページURL	放物線とx軸の共有点の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙106添付
	111	自社作成マーク	自社	自社ページURL	放物線とx軸の位置関係に関する自社作成コンテンツを掲載	別紙107添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	111	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ 別紙108添付
	112	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次関数のグラフの自社作成コンテンツを掲載	
	113	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	115	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次不等式の自社作成計算練習コンテンツを	別紙109添付
	115	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次不等式の自社作成計算練習コンテンツを	別紙110添付
	115	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	117	自社作成マーク	自社	自社ページURL	2次不等式の解の自社作成コンテンツを掲載	別紙111添付
	117	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	123	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第4章の内容を紹介する自社作成動画を掲載	別紙112添付
	123	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	124	自社作成マーク	自社	自社ページURL	三角比の値と直角三角形の大きさに関する自社作成コンテンツを掲載	別紙113添付
	125	自社作成マーク	自社	自社ページURL	三角比の覚え方の自社作成動画を掲載	別紙114添付
	125	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	126	自社作成マーク	自社	自社ページURL	直角三角形の向きを変える自社作成アニメーションを掲載	別紙115添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	126	自社作成マーク	自社	自社ページURL	鋭角の三角比の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙116添付
	127	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	131	自社作成マーク	自社	自社ページURL	相互関係の自社作成計算練習コンテンツを	別紙117添付
	131	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	133	自社作成マーク	自社	自社ページURL	直角三角形の向きを変える自社作成アニメーションを掲載	別紙118添付
	133	自社作成マーク	自社	自社ページURL	45度以下の三角比で表す自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙119添付
	133	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	134	自社作成マーク	自社	自社ページURL	三角比の値と半円の半径の大きさに関する自社作成コンテンツを掲載	別紙120添付
	135	自社作成マーク	自社	自社ページURL	半円の中の三角形に関する自社作成コンテンツを掲載	別紙121添付
	135	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	138	自社作成マーク	自社	自社ページURL	相互関係の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙122添付
	139	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	144	自社作成マーク	自社	自社ページURL	円周角の定理の自社作成コンテンツを掲載	別紙123添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	145	自社作成マーク	自社	自社ページURL	正弦定理の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙124添付
	145	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	148	自社作成マーク	自社	自社ページURL	余弦定理の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙125添付
	149	自社作成マーク	自社	自社ページURL	余弦定理の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙126添付
	149	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	151	自社作成マーク	自社	自社ページURL	三角形の面積の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙127添付
	151	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	157	自社作成マーク	自社	自社ページURL	章末問題の状況をイメージさせる自社作成コンテンツを掲載	別紙128添付
	157	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	159	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第5章の内容を紹介する自社作成動画を掲載	別紙129添付
	159	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	160	自社作成マーク	自社	自社ページURL	本文のデータを扱う自社作成の統計コンテンツを掲載	別紙130添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	161	自社作成マーク	自社	自社ページURL	本文のデータを扱う自社作成の統計コンテンツを掲載	別紙131添付
	161	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	162	自社作成マーク	自社	自社ページURL	平均値の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙132添付
	163	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	165	自社作成マーク	自社	自社ページURL	本文のデータを扱う自社作成の統計コンテンツを掲載	別紙133添付
	165	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	166	自社作成マーク	自社	自社ページURL	四分位数の求め方の自社作成アニメーションを掲載	別紙134添付
	167	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	168	自社作成マーク	自社	自社ページURL	箱ひげ図のかき方の自社作成動画を掲載	別紙135添付
	169	自社作成マーク	自社	自社ページURL	本文のデータを扱う自社作成の統計コンテンツを掲載	別紙136添付
	169	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	170	自社作成マーク	自社	自社ページURL	本文のデータを扱う自社作成の統計コンテンツを掲載	別紙137添付
	171	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	172	自社作成マーク	自社	自社ページURL	分散と標準偏差の自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙138添付
	173	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	174	自社作成マーク	自社	自社ページURL	本文のデータを扱う自社作成の統計コンテンツを掲載	別紙139添付
	175	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	182	自社作成マーク	自社	自社ページURL	仮説検定の自社作成コンテンツを掲載	別紙140添付
	183	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	192	自社作成マーク	自社	自社ページURL	測量に関する資料を掲載	別紙141添付
	193	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	195	自社作成マーク	自社	自社ページURL	本文のデータを扱う自社作成の統計コンテンツを掲載	別紙142添付
	195	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	196	自社作成マーク	自社	自社ページURL	不等式の解に関する自社作成動画を掲載	別紙65添付
	196	自社作成マーク	自社	自社ページURL	「かつ、または」に関する自社作成動画を掲載	別紙75添付
	196	自社作成マーク	自社	自社ページURL	必要条件、十分条件に関する自社作成動画を掲載	別紙73添付
	196	自社作成マーク	自社	自社ページURL	関数に関する自社作成動画を掲載	別紙80添付
	196	自社作成マーク	自社	自社ページURL	共有点に関する自社作成動画を掲載	別紙105添付

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	196	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	裏表紙	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ

(備考)申請図書中に発行者が管理するウェブサイトのアドレス(二次元コードその他のこれに代わるものも含む)を掲載する場合に、本表を以下のとおり作成する。

1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

①「番号」の欄は、複数のページ等に記載されたウェブサイトのアドレスが同一のウェブサイトを参照させる場合、一つの番号にまとめて記入する。

②「ページ」の欄は、ウェブサイトのアドレスの申請図書における掲載ページを示す。

③「種別」の欄は、URL、二次元コード等の別を示す。

2 「学習上の参考に供する情報」の欄については次のとおりとする。

①「参照先」の欄には、発行者のページから参照させる学習上の参考に供するページを作成する団体名などを記入する。

②「URL」の欄には、実際に参照させる学習上の参考に供するページのURLを記載する。なお、参照先が発行者の作成したページである場合は、「自社ページURL」と記入する。

③「概要」欄には、参照先における情報の内容を簡潔に記入する。

3 申請図書中のウェブサイトのアドレスが参照させるウェブサイトの画面を印刷した紙面には、対応する本表の番号を紙面右上に付記し、本表に添付すること。

4 学習上の参考に供する情報を示すウェブサイトが発行者において作成したページの場合、参照先のウェブサイトの画面を印刷した紙面を、本表に添付すること。

その際、「備考」の欄に「別紙1添付」と記載し、印刷した紙面右上に「別紙1」と記入すること。

別紙 1

トップ 数と式
1. 指数法則

1/16 問題 ON OFF

m, n は正の整数とする。

1 $a^m \times a^n =$

2 $(a^m)^n =$

3 $(ab)^n =$ >

たとえば、 a^3 と a^2 について

$$a^3 \times a^2 = (a \times a \times a) \times (a \times a) = a^{3+2} = a^5$$

$$(a^3)^2 = (a \times a \times a) \times (a \times a \times a) = a^{3 \times 2} = a^6$$

$$(ab)^2 = (ab) \times (ab) = (a \times a) \times (b \times b) = a^2 b^2$$

>

トップ 値 [数学I] ✓

あたい
値

(2 次関数)

関数 $y=f(x)$ において、 x の値 a に対応して決まる y の値を $f(a)$ と書き、

< $f(a)$ を関数 $f(x)$ の $x=a$ における値という >

例 2 次関数 $f(x)=x^2$ の $x=2$ における値は $f(2)=2^2=4$

関連語

別紙 3

目次

第1章 数と式

展開	次の式を展開せよ。 (1) $(x+2)(x-4)$ (2) $(x+1)^2$ (3) $(x+3)(x-3)$	>
因数分解	次の式を因数分解せよ。 (1) $ab-3ac$ (2) x^2+4x+3 (3) x^2-4	>
根号を含む式の計算	次の式を計算せよ。 (1) $\sqrt{3} \times \sqrt{5}$ (2) $\frac{\sqrt{6}}{\sqrt{2}}$ (3) $\sqrt{2} + \sqrt{8}$	>
1次方程式	次の方程式を解け。 (1) $3x-4=8$ (2) $x-6=2x+3$	>

目次

第2章 集合と命題

約数	次の数の正の約数を、すべて求めよ。 (1) 6 (2) 15	>
素数	15以下の素数をすべて答えよ。	>
仮定と結論	次の事柄の仮定と結論をそれぞれ答えよ。 (1) $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ ならば $\angle A = \angle D$ (2) $3x+2=5$ ならば $x=1$	>
反例	次の事柄は正しくない。反例を1つあげよ。 a, b がともに自然数ならば、 $a-b$ は自然数である。	>

別紙 4

別紙 5

三目次

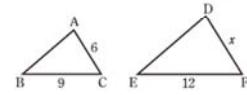
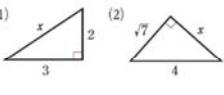
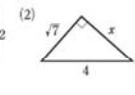
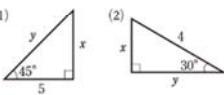
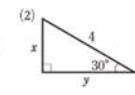
第3章 2次関数

- 1次関数のグラフ**
次の1次関数のグラフをかけ。
(1) $y = 2x$ (2) $y = -x + 3$
- 関数 $y=ax^2$ のグラフ**
次の関数のグラフをかけ。
(1) $y = x^2$ (2) $y = -\frac{1}{2}x^2$
- 2次方程式**
次の方程式を解け。
(1) $x^2 - 3x - 4 = 0$ (2) $x^2 - 49 = 0$

別紙 6

三目次

第4章 図形と計量

- 相似な図形**
右の図において、 $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が相似であるとき、
 x の値を求めよ。

- 三平方の定理**
右の図において、 x の値を求めよ。
(1) 
(2) 
- 特別な直角三角形の辺の比**
右の図において、 x , y の値を求めよ。
(1) 
(2) 

別紙 7

三目次

第5章 データの分析

- 度数分布表、ヒストグラム**
データ① 2, 4, 5, 8, 9, 11, 11, 12, 12, 14, 14, 14, 14, 16, 16, 17
(単位は点)
データ①について、次の度数分布表を完成させよ。
また、それをもとにして、ヒストグラムを作れ。
- データの代表値**
データ① 2, 4, 5, 8, 9, 11, 11, 12, 12, 14, 14, 14, 14, 16, 16, 17
(単位は点)
データ①について、平均値、^{最高値}最頻値、中央値を求めよ。
- 四分位数**
データ① 2, 4, 5, 8, 9, 11, 11, 12, 12, 14, 14, 14, 14, 16, 16, 17
(単位は点)
データ①について、四分位数を求めよ。

別紙 8

0で割ってはいけない理由

平方根のおよその値

三段論法

素数は無限に存在する

鳩の巣原理

最小値が存在しないとは

定理を拡張する

散布図に表すことの大切さ

相関関係と因果関係

回帰分析

たすき掛けの因数分解

2重根号

不等式の性質

ド・モルガンの法則

$90^\circ - \theta$ の三角比

正弦定理

余弦定理

度数分布表・ヒストグラム

代表値

四分位範囲

箱ひげ図

分散と標準偏差

$$(-18) \div \frac{6}{5}$$

$$= \boxed{}$$

>

$$-(5a - 2b) + (a + 3b)$$

>

$$= \boxed{}$$

$$\frac{2x+1}{3} + \frac{x-1}{4}$$

>

$$= \boxed{}$$

$$2x^3 \times (5x)^2$$

>

$$= \boxed{\quad}$$

$$4x - 3 = 5$$

>

$$x = \boxed{\quad}$$

$$\begin{cases} 2x + 3y = 6 \\ 7x + 5y = -1 \end{cases}$$

>

$$x = \boxed{\quad}, \quad y = \boxed{\quad}$$



数と式

$$x^2 + x - 3x^2$$

$$= \boxed{}$$

>

$$(-2x^2 + 3x + 4) + 4(x^2 + 3x - 6)$$

$$= \boxed{}$$

>

$$4x^2 \times (-x)^7$$

$$= \boxed{}$$

>

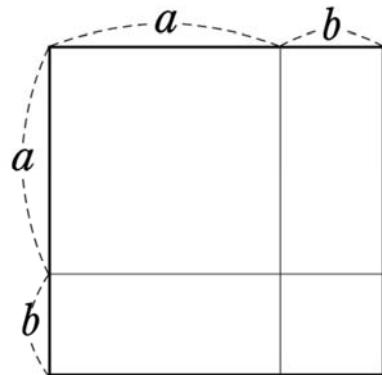
$$(x^2 - 5x)(2x + 3)$$

$$= \boxed{}$$

>

別紙 41

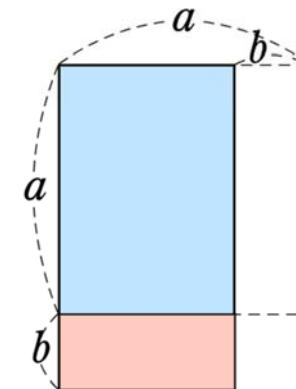
- $(a+b)^2$
 $(a-b)^2$



$$(a+b)^2 =$$

[◀ 前へ](#) [▶ 開始](#)
[⌚ 最初に戻る](#)

別紙 42



$$(a+b)(a-b) =$$

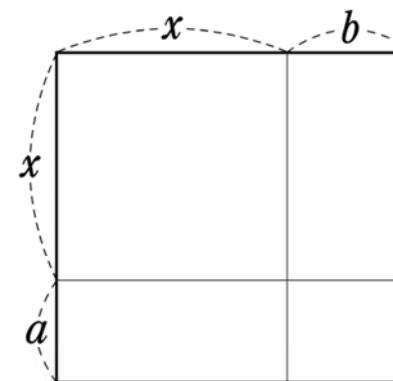
[◀ 前へ](#) [▶ 開始](#)
[⌚ 最初に戻る](#)

別紙 43

$$(2m-1)^2$$

$$= \boxed{\quad}$$

>



$$(x+a)(x+b) =$$

[◀ 前へ](#) [▶ 開始](#)
[⌚ 最初に戻る](#)

別紙 44

$$(x-2)(x-4)$$

>

$$= \boxed{}$$

$$(3x+4)(2x+1)$$

>

$$= \boxed{}$$

$$x^2y - xy^2$$

>

$$= \boxed{}$$

$$4x^2 - 4x + 1$$

>

$$= \boxed{}$$

$$x^2 - 7x + 12$$

=



$$2x^2 - 11x + 5$$

$$\begin{array}{r} 1 \quad \cancel{5} \rightarrow 10 \\ 2 \quad \cancel{1} \rightarrow 1 \\ \hline 2 \quad 5 \quad \cancel{11} \end{array}$$

 連続再生

◀ 前へ

次へ ▶

最初に戻る

$$3 \boxed{x^2} + 5 \boxed{x} + -2$$



リセット

最初に戻る

$$3x^2 - 5x - 2$$

=



$$x^2 + (3y+1)x + (y+4)(2y-3)$$

>

$$= \boxed{\quad}$$

$$(x+3)^3$$

>

$$= \boxed{\quad}$$

$$(x-2)(x^2+2x+4)$$

>

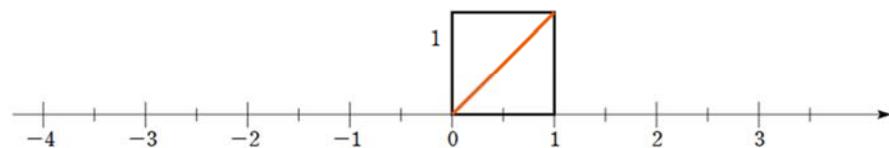
$$= \boxed{\quad}$$

$$x^3 - 1$$

>

$$= \boxed{\quad}$$

四角形 円



対角線の長さ

$$\sqrt{2}$$



▶ 開始
戻る

$$\left| \frac{5}{2} \right| =$$



$$\sqrt{50} =$$



$$6\sqrt{3} \times 3\sqrt{2}$$



$$3\sqrt{5} - 2\sqrt{5} + 4\sqrt{5}$$

=

>

$$(\sqrt{6} + 4)(\sqrt{6} + 8)$$

=

>

$$\frac{5}{\sqrt{5}} =$$

>

$$\frac{1}{1+\sqrt{3}}$$

=

>

用語の解説

「不等式の解」

$$x - 1 > 2$$



$$x \boxed{}$$

$$4x \leq -12$$



$$x \boxed{}$$

$$-4x - 5 \geq 7$$

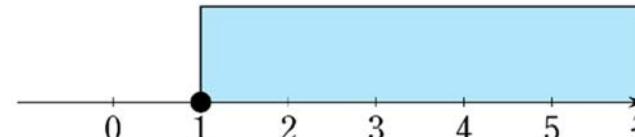


$$x \boxed{}$$

$$\frac{5}{3}x + 2 < \frac{1}{6}x - 4$$

>

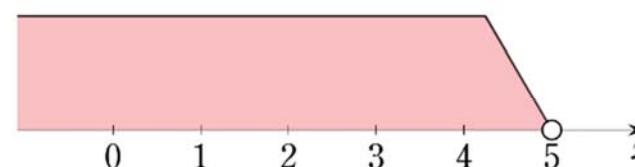
x



x \geq



1



x < 5



5



▶ 開始

◁ 最初に戻る

$$\begin{cases} -5x + 6 \geq -9 \\ 3x + 3 \geq 2x \end{cases}$$

>

x

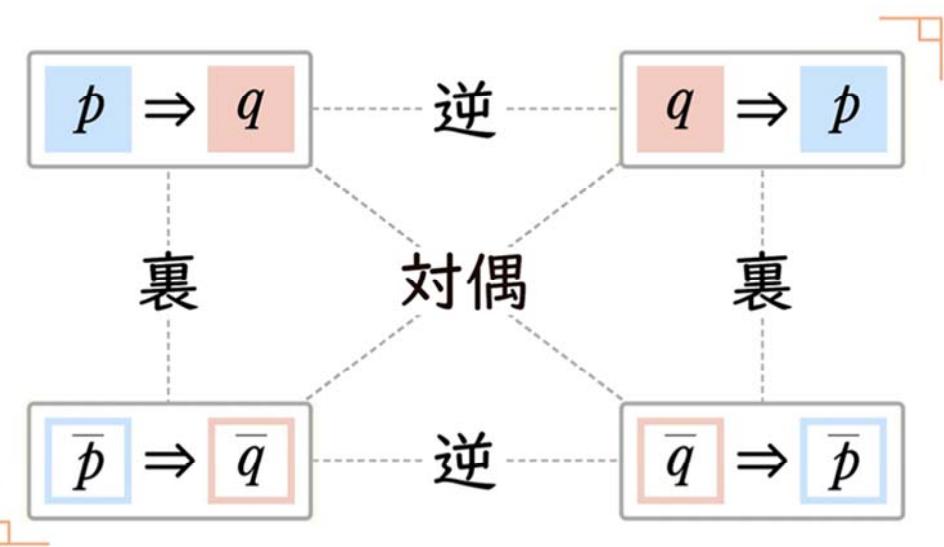
集合と命題

用語の解説

「必要条件」**「十分条件」** $2x=2y$ は $x=y$ であるための

条件

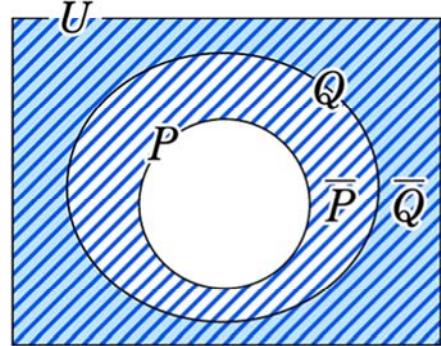
用語の解説

「かつ」**「または」**

$p \Rightarrow q$ が真
 $P \subset Q$

一致

$\bar{q} \Rightarrow \bar{p}$ が真
 $\bar{Q} \subset \bar{P}$



用語の解説

「矛盾」

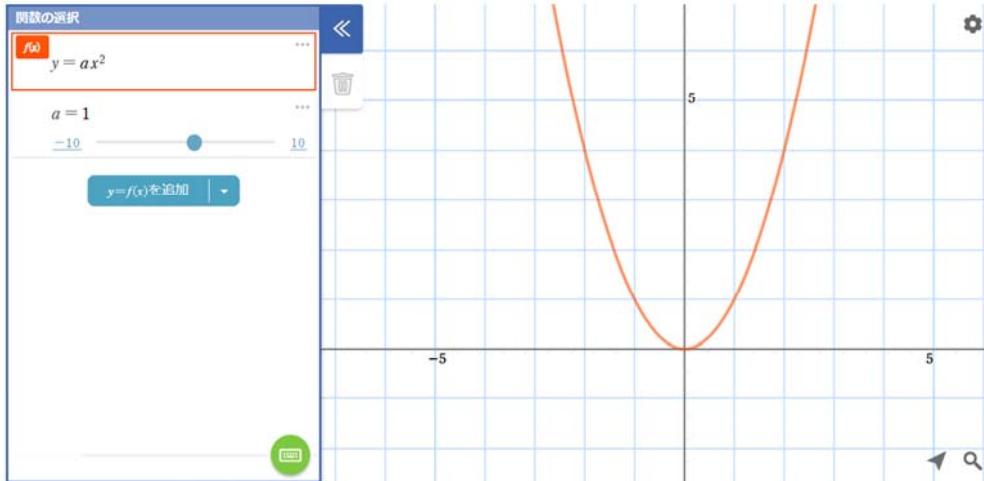


2次関数

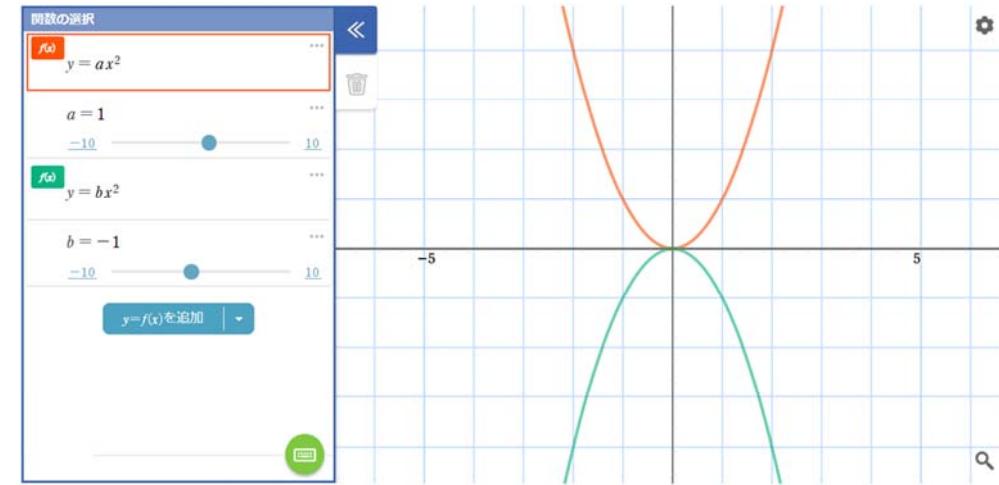
用語の解説

「関数 $f(x)$ 」

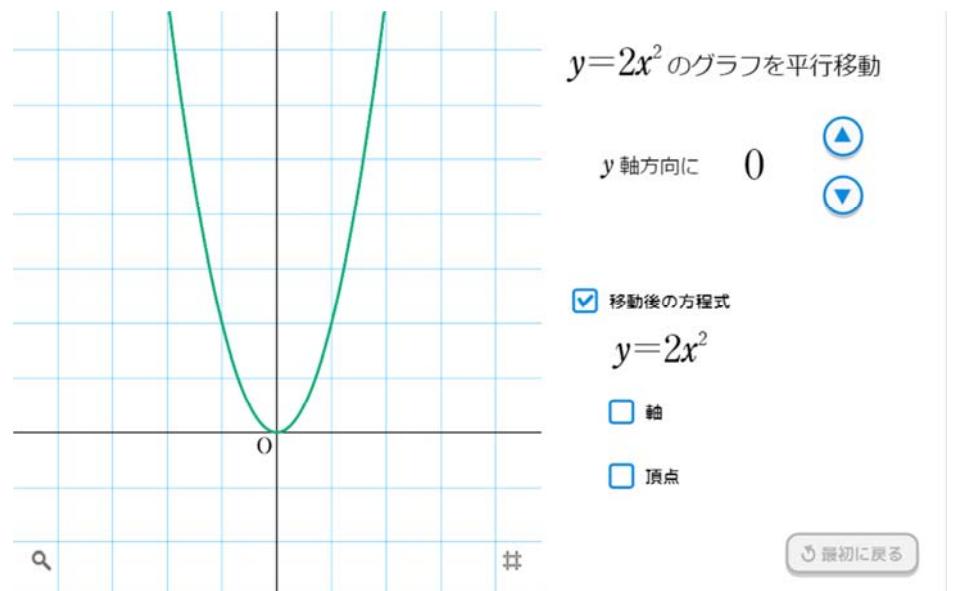
別紙 81



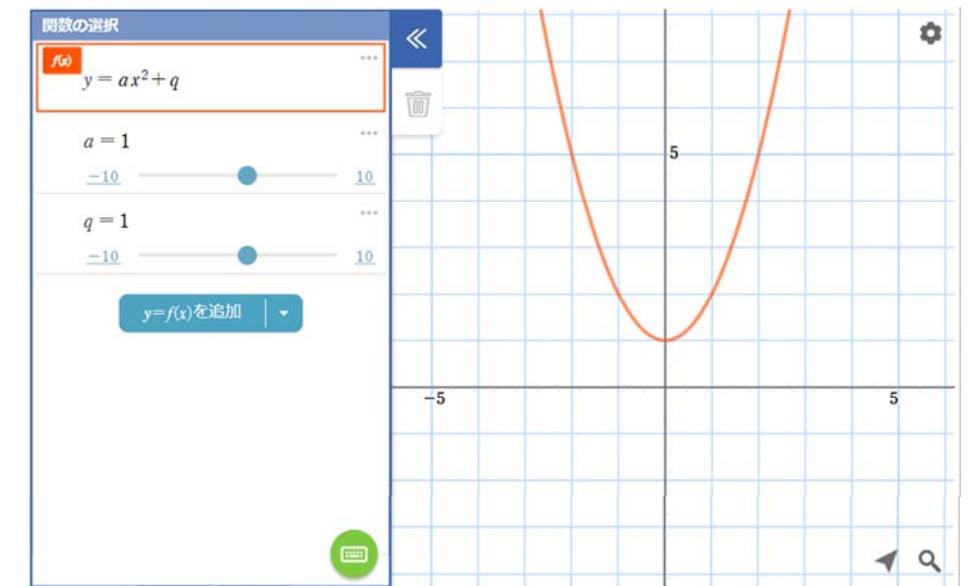
別紙 82



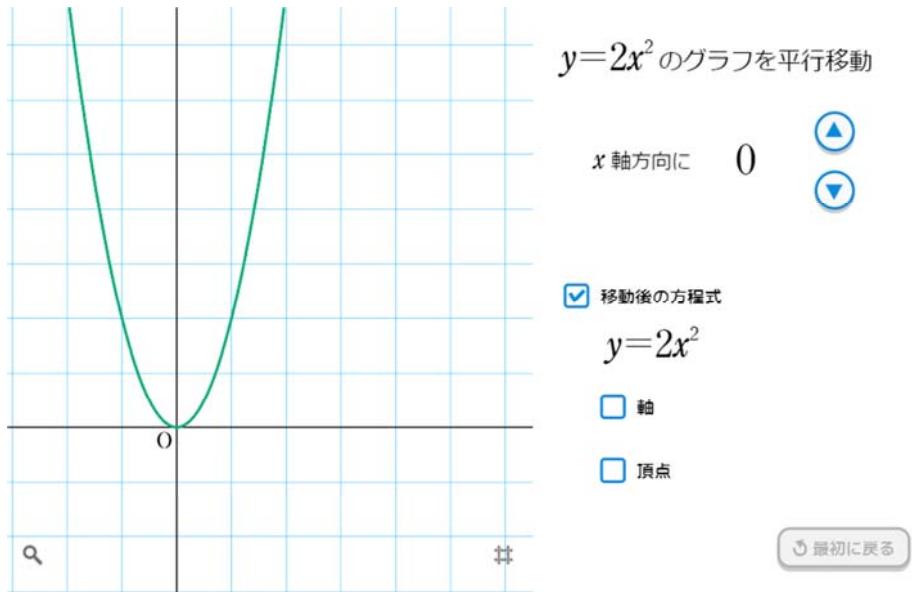
別紙 83



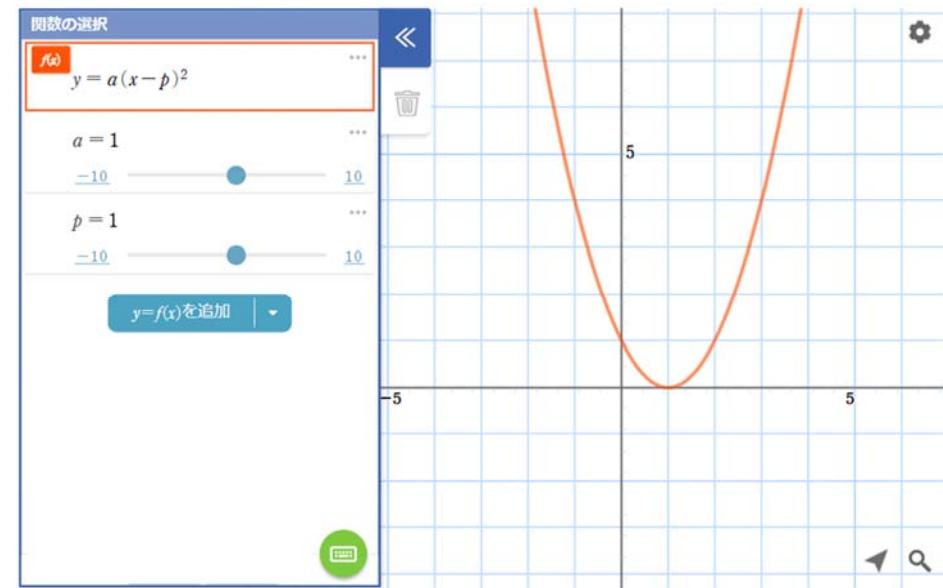
別紙 84



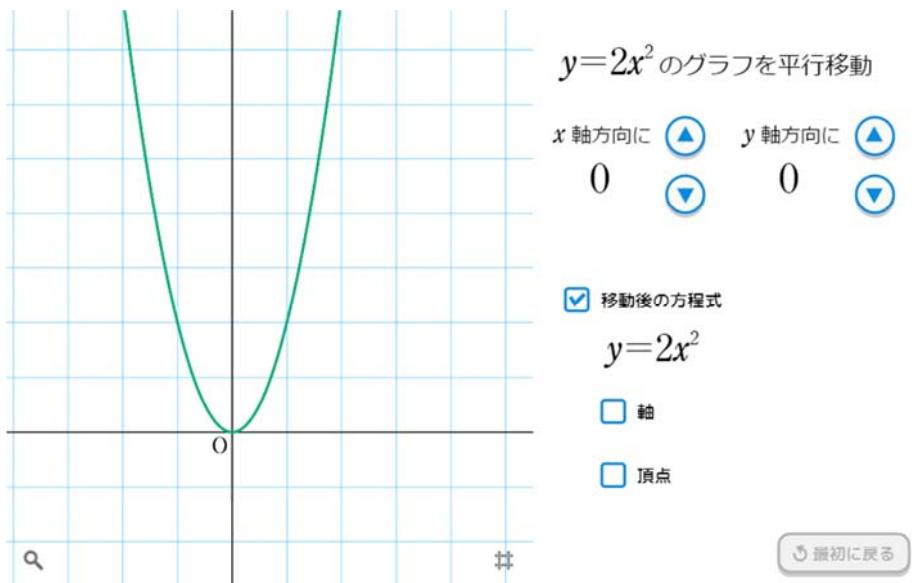
別紙 85



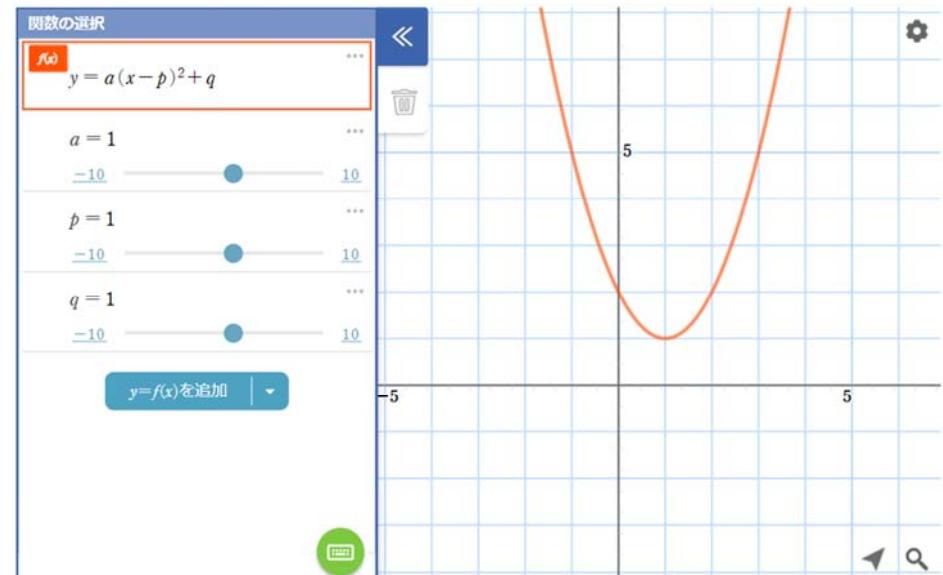
別紙 86



別紙 87



別紙 88



2 次関数 $y = -2(x-3)^2 + 5$ の

頂点は 点 [] >

軸は 直線 []

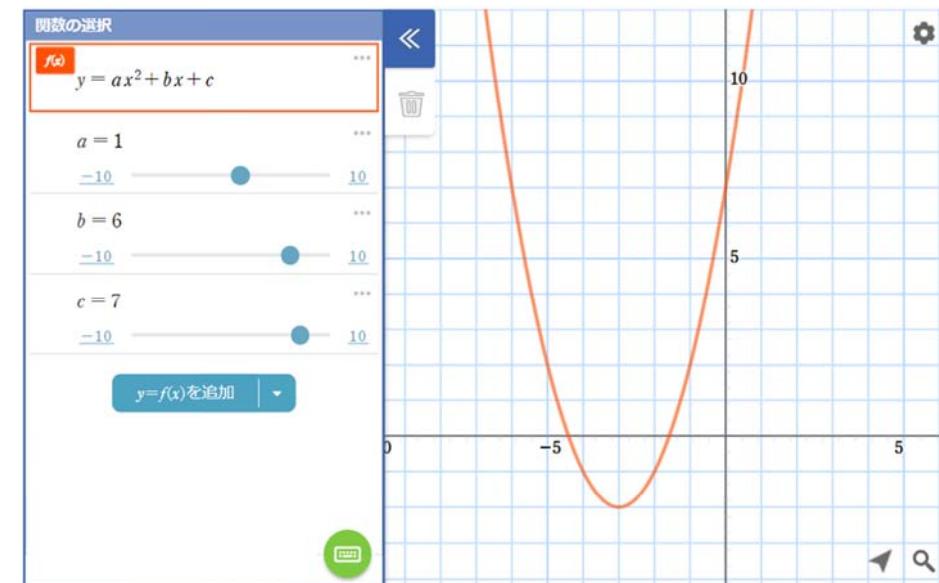
x^2 ■ x

 数字入力

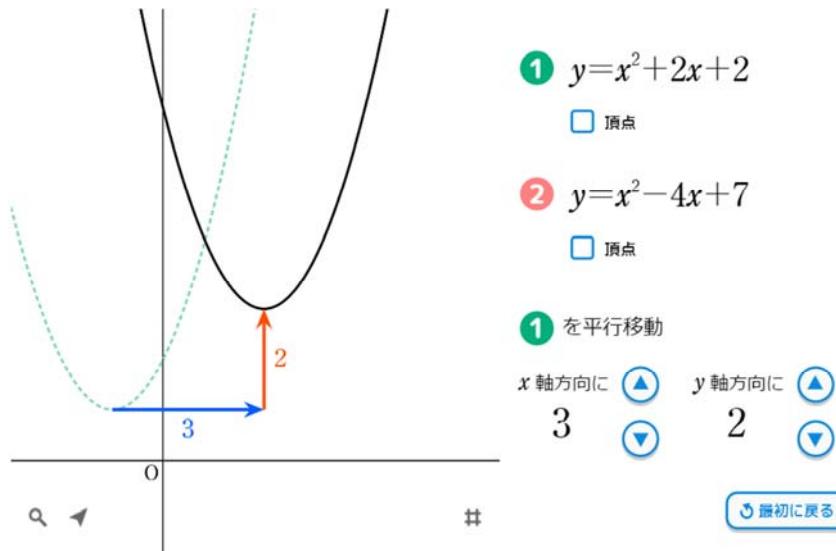
$$x^2 + \blacksquare x = (x + \blacksquare)^2 - \blacksquare$$

$$y = -x^2 + 8x - 15$$

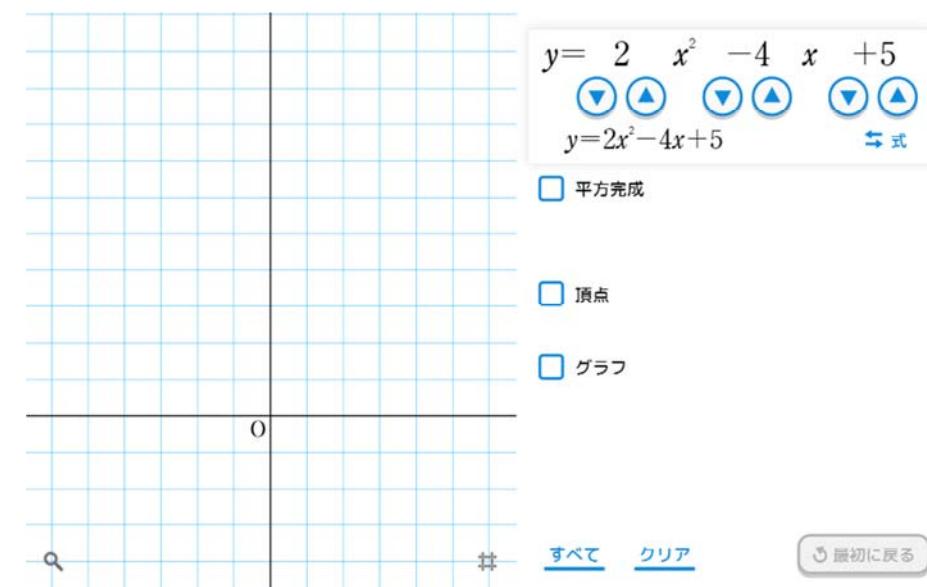
$$y = []$$



別紙 93



別紙 94



別紙 95

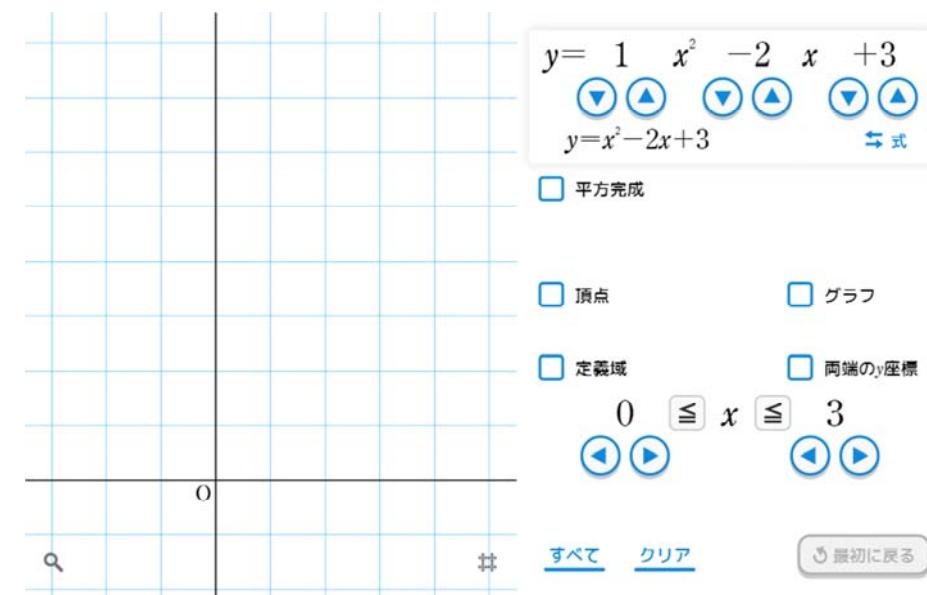
次の2次関数の最小値を求めなさい。

$$y=x^2+2x+2$$



$x=$ で最小値

別紙 96

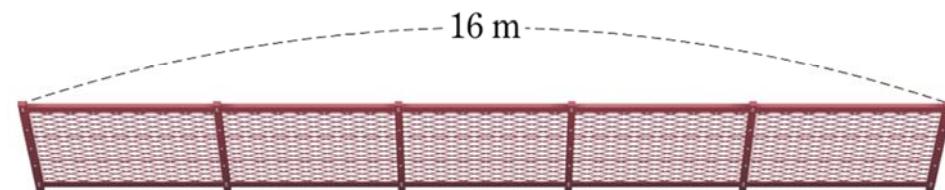
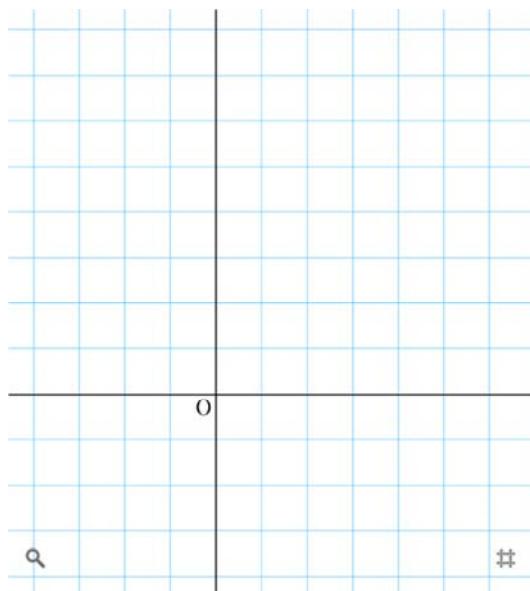


次の2次関数の最小値を求めなさい。

$$y = -x^2 + 4 \quad (0 \leq x \leq 4)$$

$x =$ で最大値 >

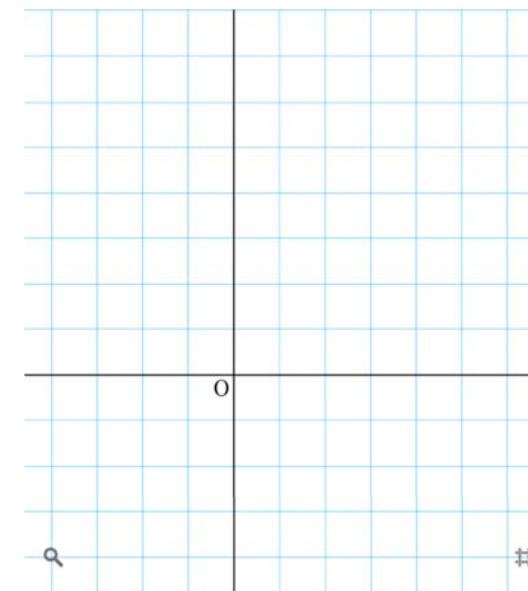
$x =$ で最小値

 開始 最初に戻る

頂点 (1, -3)

点 (3, 5)

条件を満たすグラフ

 最初に戻る

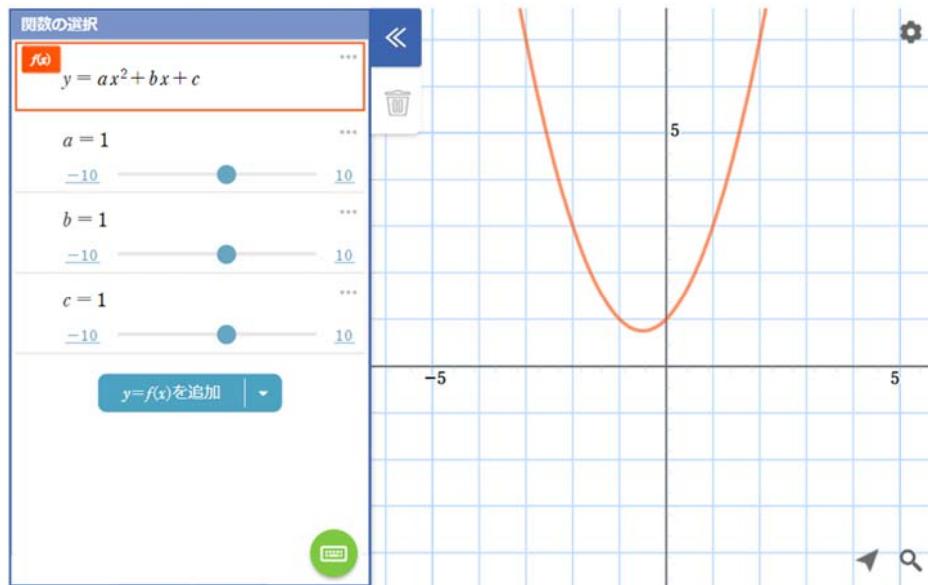
点 (0, 1)

点 (1, -1)

点 (2, 3)

3点を通るグラフ

 最初に戻る



$$x^2 + 5x - 14 = 0$$

$$x =$$



$$3x^2 - x - 3 = 0$$

$$x =$$



2 次方程式

$$x^2 + 4x - 3 = 0$$

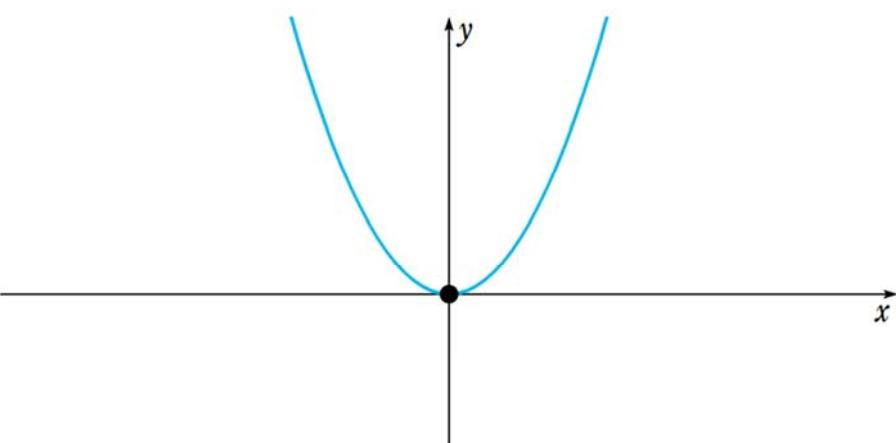


の実数解の個数は

個

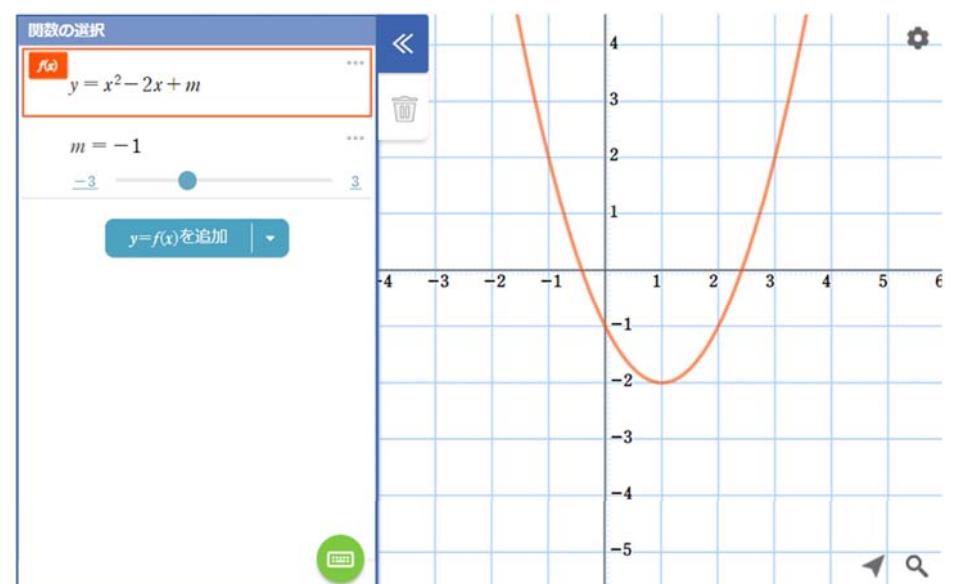
用語の解説

「共有点」



2 次関数 $y = -x^2 + 10x - 25$ のグラフと x 軸の共有点はある。

共有点の x 座標は



$$x^2 - 64 > 0$$

[] , []

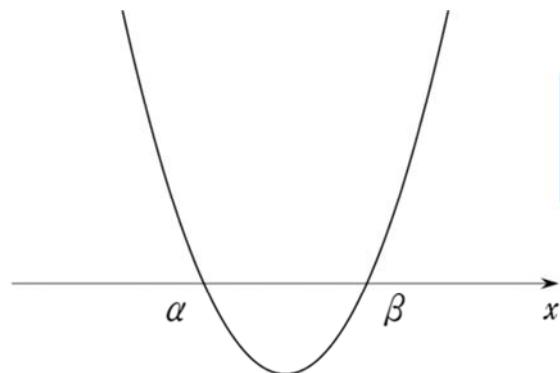
>

$$6x - x^2 \leq 0$$

[] , []

>

- $D > 0$
- $D = 0$
- $D < 0$



- | |
|------------------------|
| $ax^2 + bx + c > 0$ |
| $ax^2 + bx + c \geq 0$ |
| $ax^2 + bx + c < 0$ |
| $ax^2 + bx + c \leq 0$ |

となる x の値の範囲 は

解を表示する

最初に戻る

図形と計量

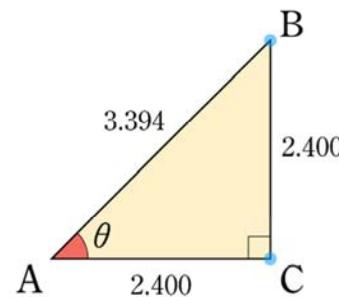
別紙 113

$$\frac{BC}{AB} = \frac{2.400}{3.394} =$$

$$\frac{AC}{AB} = \frac{2.400}{3.394} =$$

$$\frac{BC}{AC} = \frac{2.400}{2.400} =$$

[計算する](#)

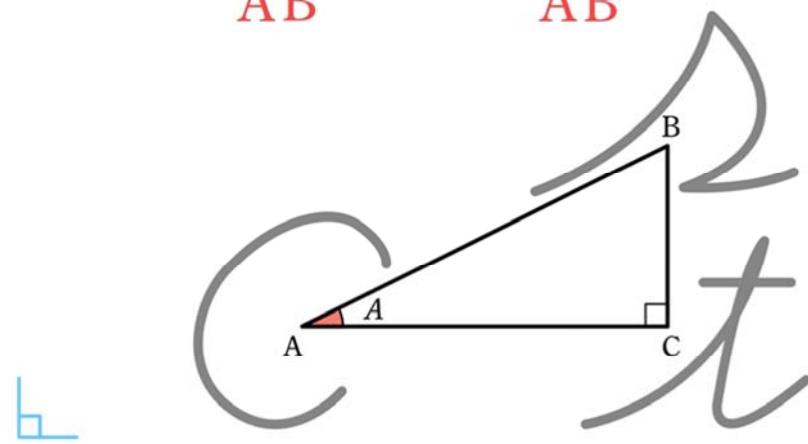


$$\theta = 45^\circ$$

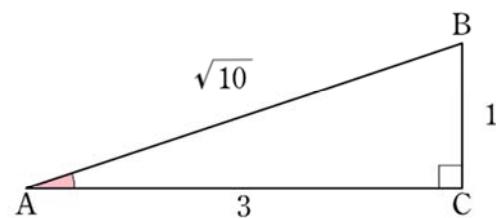
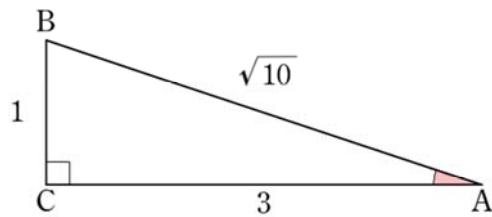
[最初に戻る](#)

別紙 114

$$\sin A = \frac{BC}{AB} \quad \cos A = \frac{AC}{AB} \quad \tan A = \frac{BC}{AC}$$



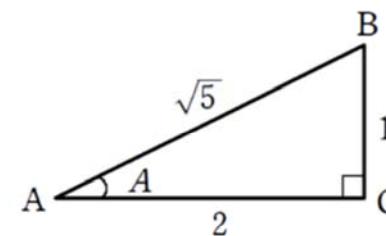
別紙 115



[再開](#)

[最初に戻る](#)

別紙 116



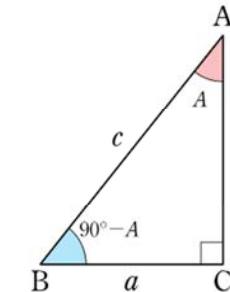
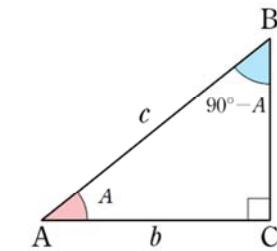
$$\sin A = \square \quad \cos A = \square \quad \tan A = \square$$

>

A は鋭角とする。 $\cos A = \frac{1}{4}$ のとき

$$\sin A = \boxed{} >$$

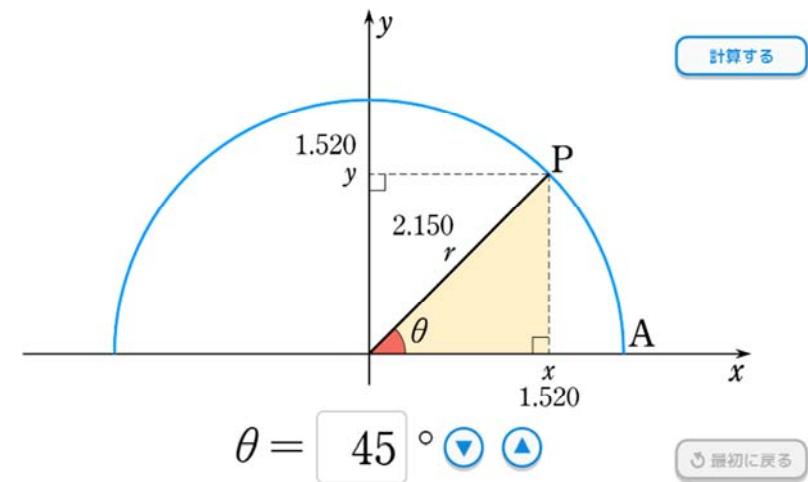
$$\tan A = \boxed{}$$



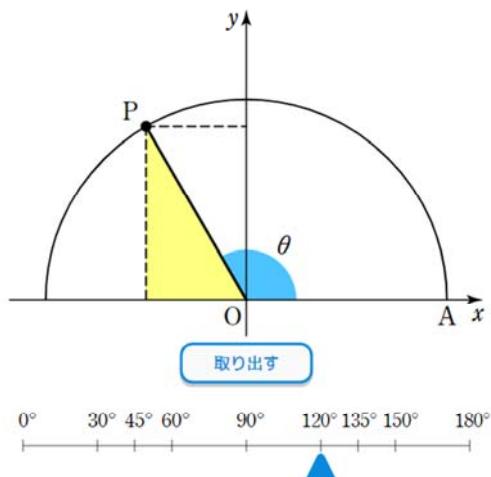
▶ 再開
最初に戻る

$$\cos 70^\circ = \boxed{}^\circ >$$

$$\frac{y}{r} = -\frac{1.520}{2.150} = \quad \frac{x}{r} = -\frac{1.520}{2.150} = \quad \frac{y}{x} = \frac{1.520}{1.520} =$$



別紙 121

 最初に戻る

別紙 122

$90^\circ < \theta < 180^\circ$ とする。

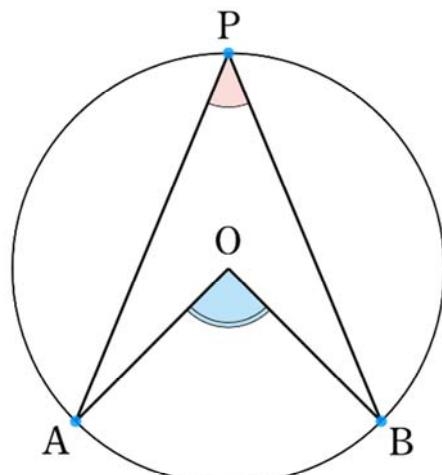
$$\sin \theta = \frac{\sqrt{21}}{5}$$
 のとき



$$\cos \theta =$$

$$\tan \theta =$$

別紙 123

 $\angle APB$ $\angle AOB$

 最初に戻る

別紙 124

$b=4\sqrt{5}$, $B=30^\circ$ である

$\triangle ABC$ の外接円の半径 R は



$$R =$$

$\triangle ABC$ において,
 $a=5, b=\sqrt{2}, C=135^\circ$ のとき

$$c = \boxed{\quad}$$



$\triangle ABC$ において,
 $a=4\sqrt{2}, b=7, c=5$ のとき

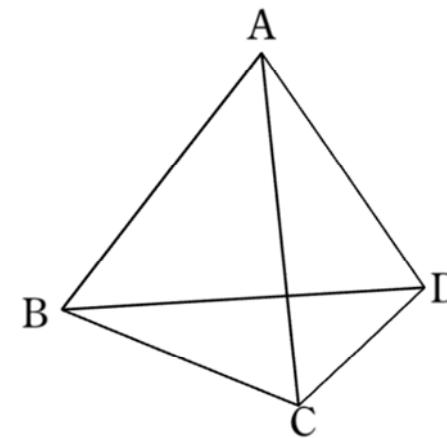
$$\cos C = \boxed{\quad}$$

$$C = \boxed{\quad}^\circ$$



$a=4, c=8, B=30^\circ$ である
 $\triangle ABC$ の面積 S は

$$S = \boxed{\quad}$$



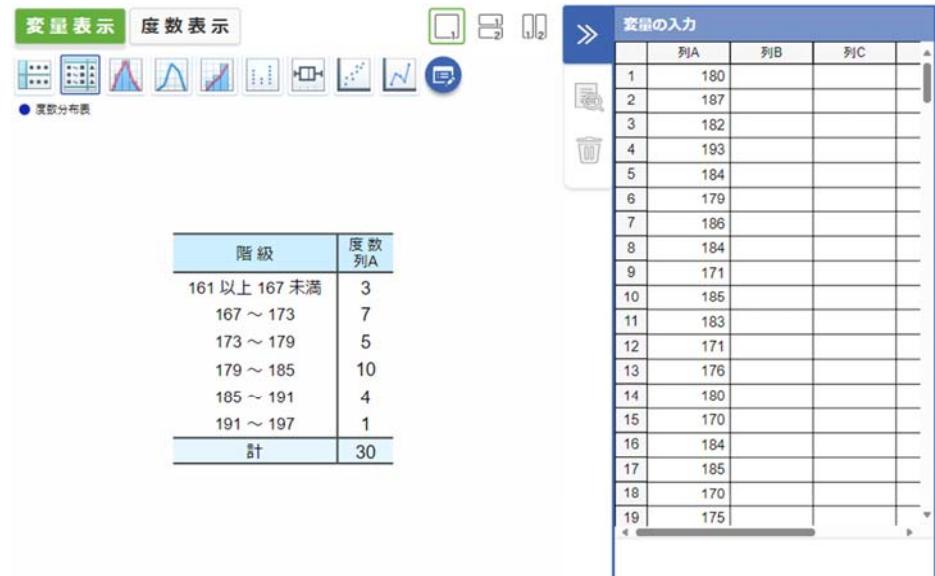
$\triangle ADM$

最初に戻る

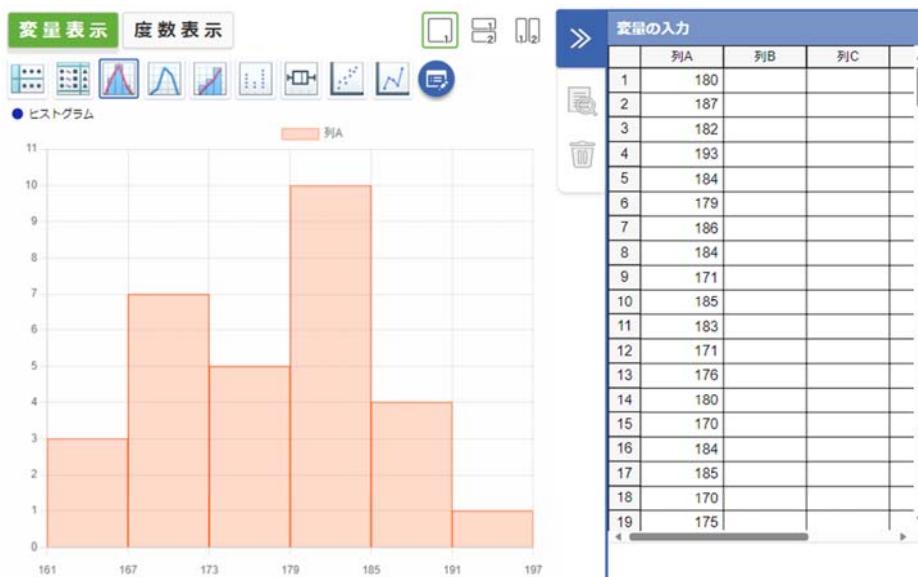
別紙 129



別紙 130



別紙 131



別紙 132

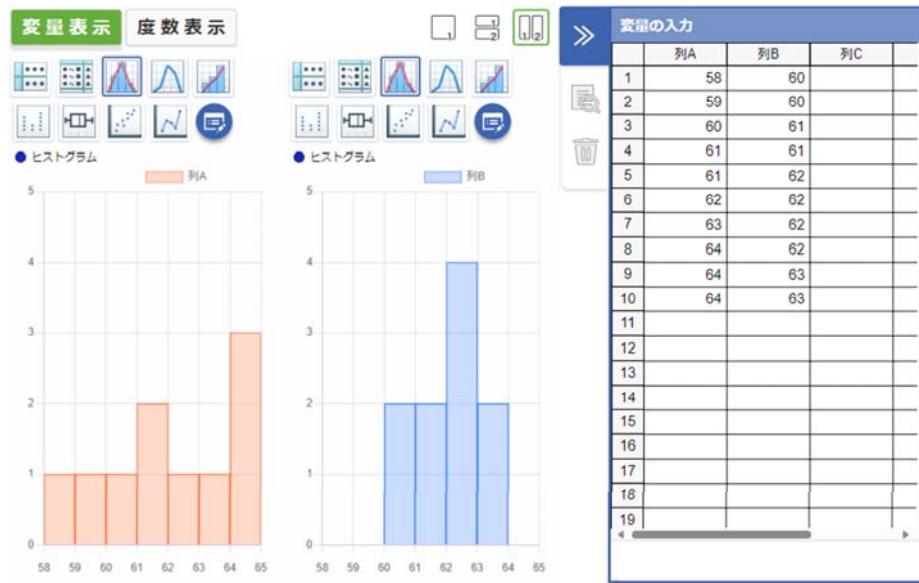
次のデータは、生徒 6 人の
数学の小テストの得点です。

6 7 8 2 5 2 (点)



このデータの平均値は [] 点

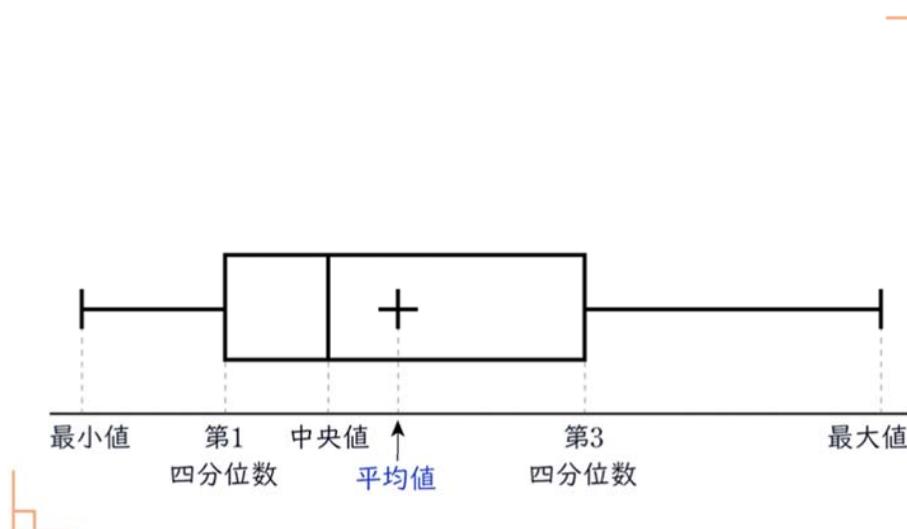
別紙 133



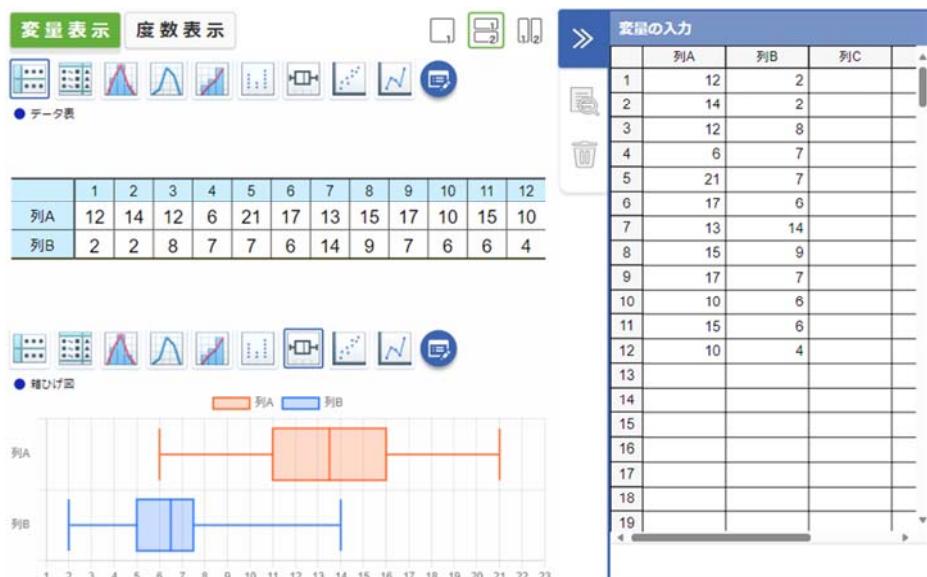
別紙 134



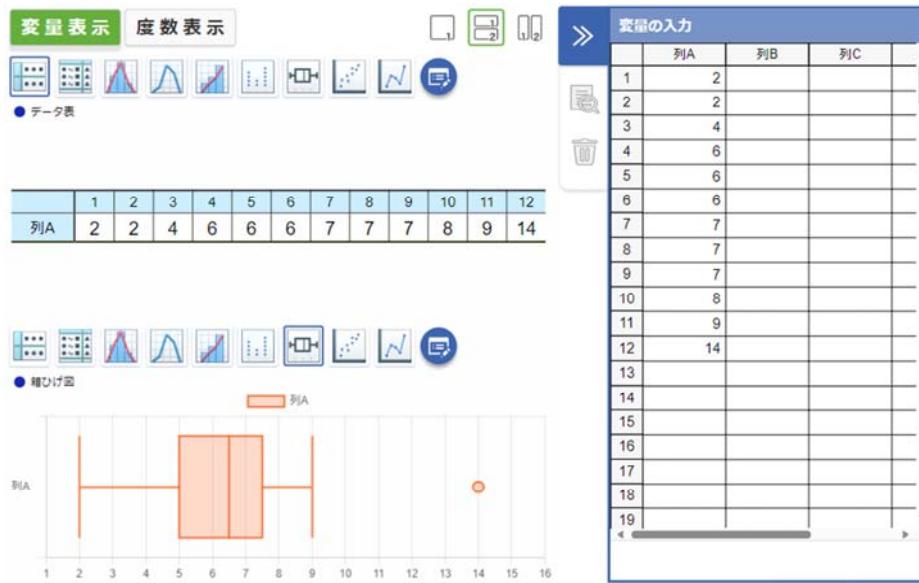
別紙 135



別紙 136



別紙 137

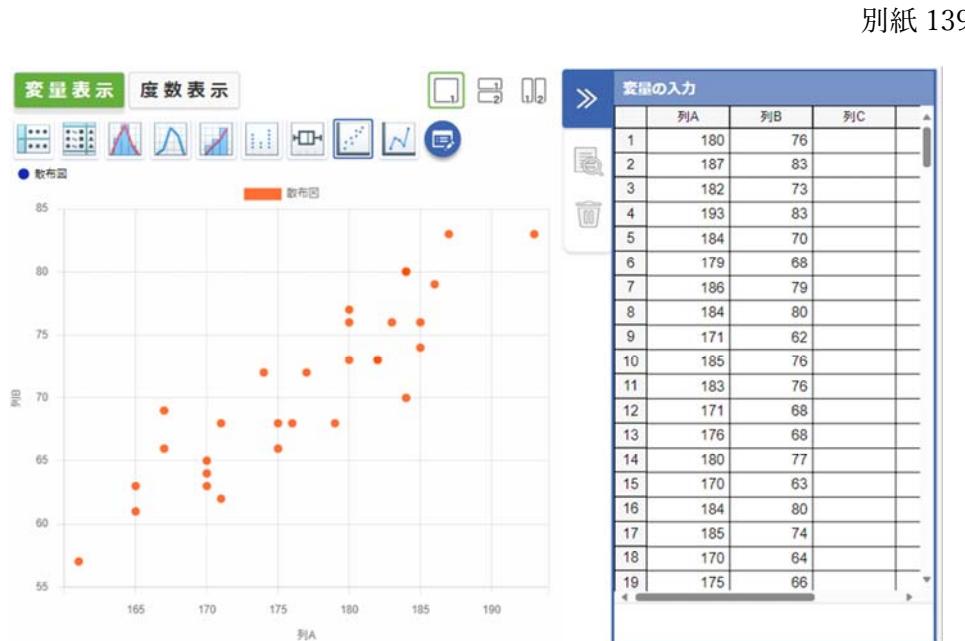


次のデータは、サッカー選手5人の過去5試合の得点です。

8 5 6 2 9 (点)

分散は ■ 標準偏差は ■

(標準偏差は $\sqrt{\quad}$ を使って表してよい。)



1セットのコイン投げの枚数

30 枚



セット数

1000 回



表の枚数

度数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
度数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

グラフに切り替える

▶ 実験開始

◀ やり直す

最初に戻る

別紙 140

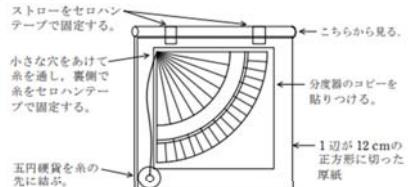
別紙 141

課題学習 4 の補充課題

課題1 次の見上げる角度を測る器具「角度測定器」を作つてみよう。

■材料 1辺が 12 cm の正方形の厚紙、ストロー 1 本、糸、五円硬貨 1 枚、分度器のコピー、セロハンテープ

■作り方



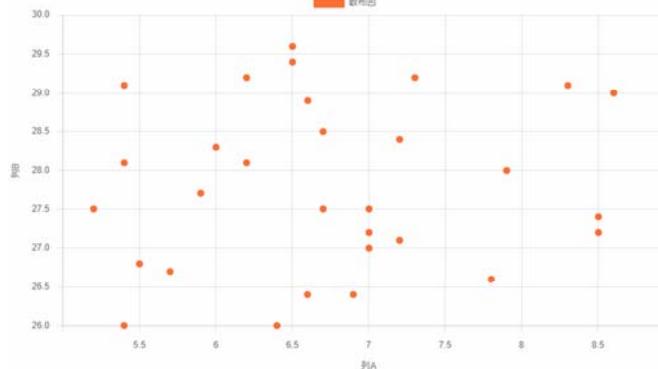
■使い方 糸と厚紙が平行になるように動かして、ストローから目標物が見えたら糸を押さえ、角度を読み取る。

課題2 課題1の角度測定器と巻尺を使って、教科書 193 ページで考えた方法により、身近にある木や建物の高さを測定してみよう。

別紙 142

変量表示 度数表示

● 散布図
数布図



変量の入力

	列A	列B	列C
1	6.6	28.9	
2	6.5	29.4	
3	5.4	26.0	
4	7.0	27.0	
5	7.0	27.2	
6	6.7	28.5	
7	6.0	28.3	
8	6.6	26.4	
9	7.9	28.0	
10	6.4	26.0	
11	8.5	27.2	
12	6.2	28.1	
13	6.7	27.5	
14	8.6	29.0	
15	5.5	26.8	
16	7.8	26.6	
17	6.5	29.6	
18	7.0	27.5	
19	5.4	26.1	